

第4章 在宅介護実態調査の結果

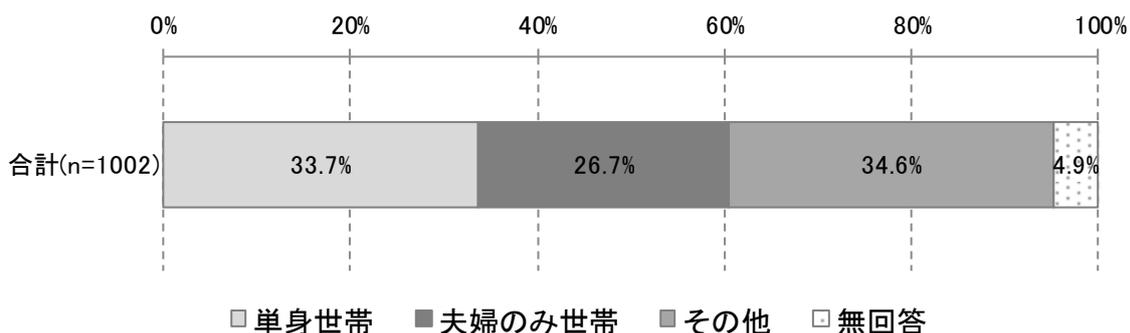
1 本人に対する調査項目（A票）

（1）世帯類型

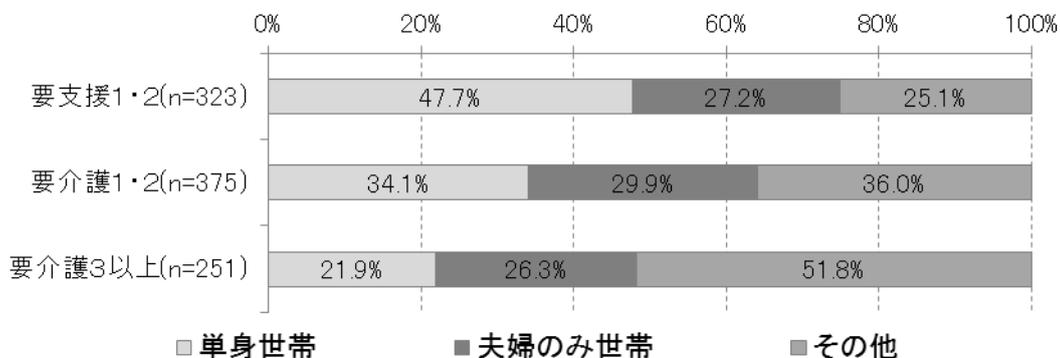
Q 2. あなた（あて名の御本人。以下の問も同じです。）の世帯類型について、御回答ください。＜〇は1つ＞

世帯類型は、「その他」が34.6%で最も高く、次いで「単身世帯」が33.7%、「夫婦のみ世帯」が26.7%となっています。

要介護度別でみると、要介護度が上がるとともに「その他」が高くなっています。一方、要介護度が下がるとともに「単身世帯」が高くなっています。



【要介護度別】



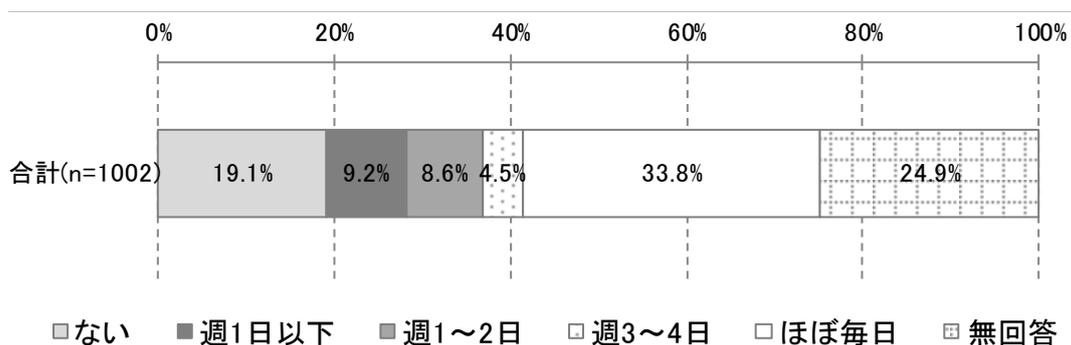
(2) 家族等による介護の頻度

Q12. あなたに対する御家族や御親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子供や親族等からの介護を含む)。<〇は1つ>

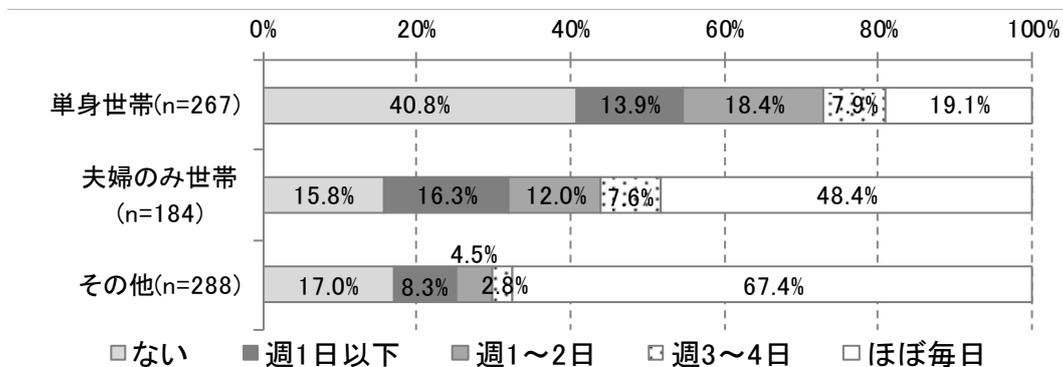
家族等による介護の頻度は、「ほぼ毎日」が33.8%で最も高く、次いで「ない」が19.1%、「週1日以下」が9.2%となっています。

世帯類型別でみると、「単身世帯」では「ない」が40.8%と最も高くなっています。また、「ほぼ毎日」が「その他」では67.4%、「夫婦のみ世帯」では48.4%と最も高くなっています。

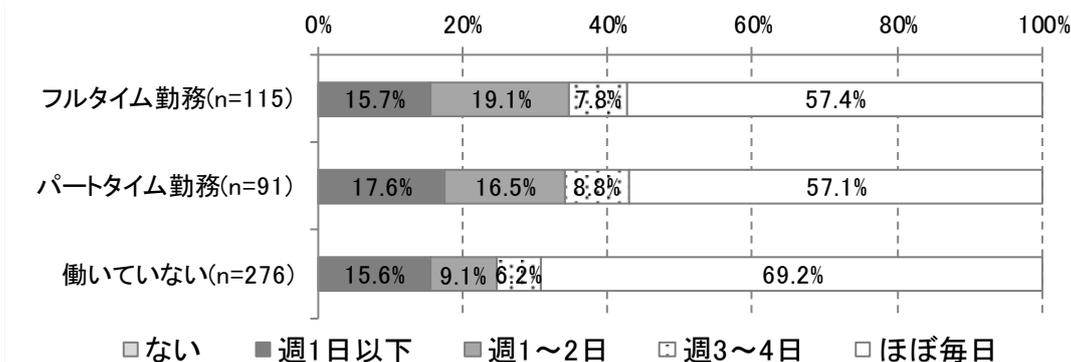
主な介護者の就労状況別でみると、就労状況に関わらず、「ほぼ毎日」が最も高くなっています。



【世帯類型別】



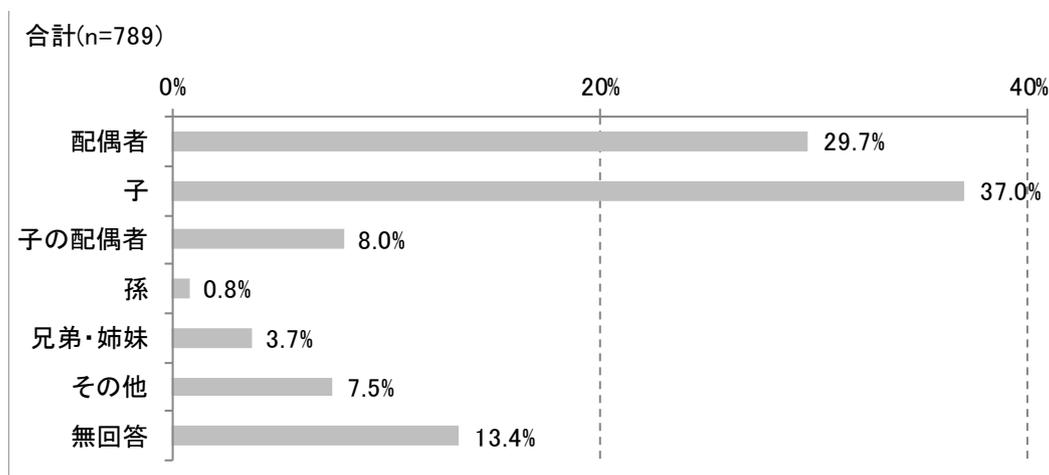
【主な介護者の就労状況別】



(3) 主な介護者の本人との関係

Q 3. 主な介護者の方は、どなたですか。〈〇は1つ〉（介護者に対する調査）

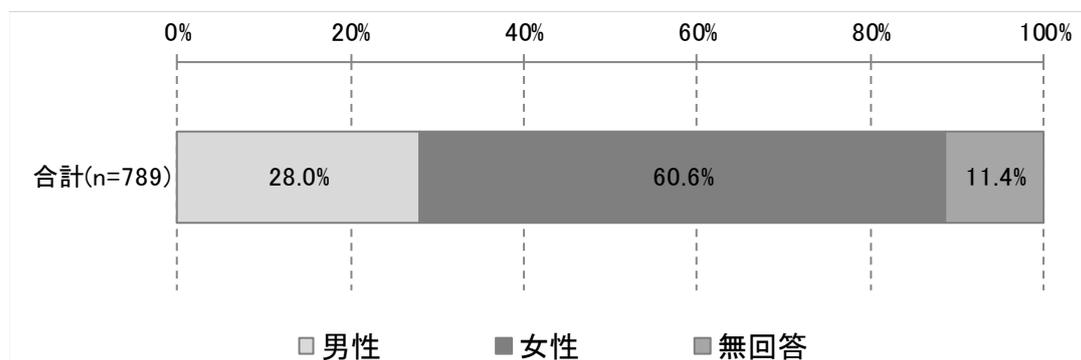
主な介護者の本人との関係は、「子」が37.0%で最も高く、次いで「配偶者」が29.7%、「子の配偶者」が8.0%となっています。



(4) 主な介護者の性別

Q 4. 主な介護者の方の性別について御回答ください。〈〇は1つ〉（介護者に対する調査）

主な介護者の性別は、「男性」が28.0%、「女性」が60.6%となっています。

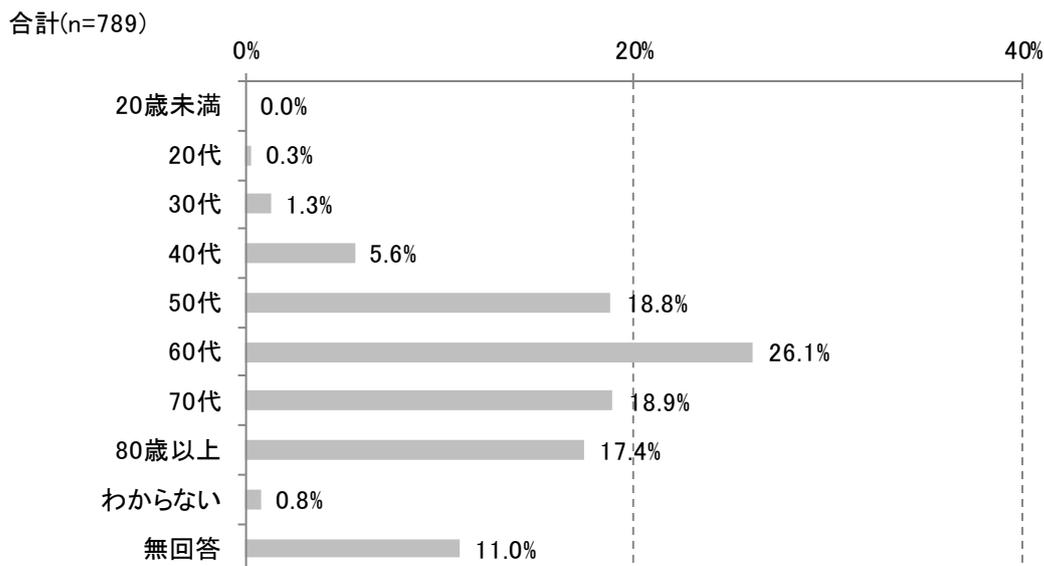


(5) 主な介護者の年齢

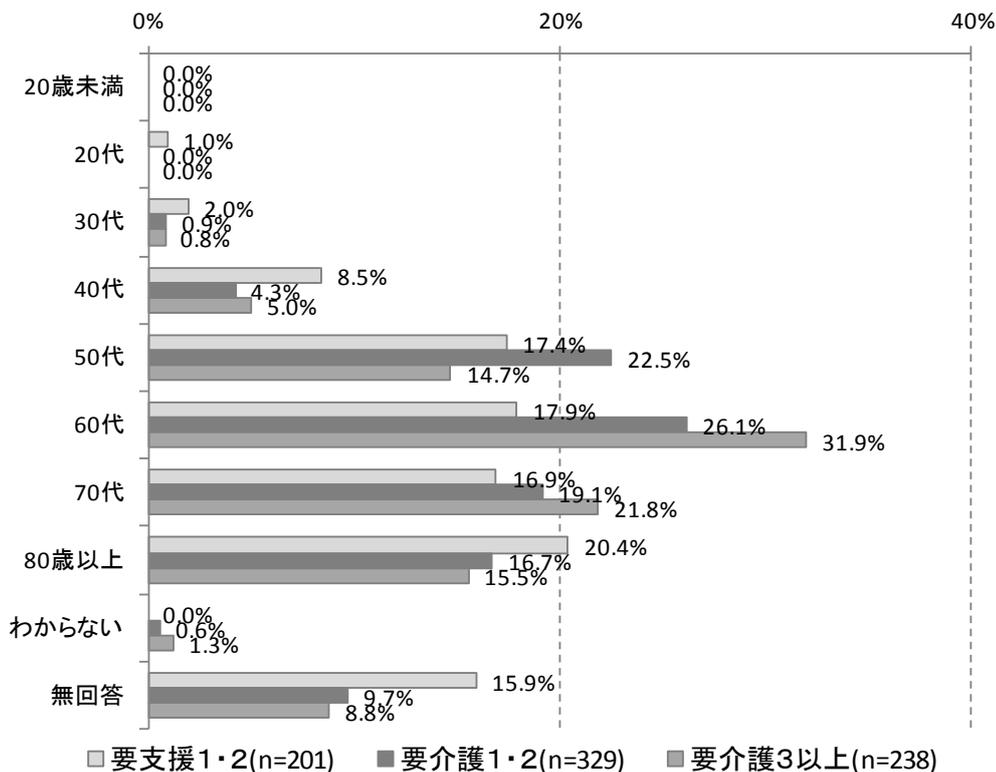
Q5. 主な介護者の方の年齢について御回答ください。〈〇は1つ〉（介護者に対する調査）

主な介護者の年齢は、「60代」が26.1%で最も高く、次いで「70代」が18.9%、「50代」が18.8%となっています。

要介護度別でみると、「要支援1・2」では「80歳以上」が20.4%と最も高くなっています。一方、「60代」が「要介護1・2」では26.1%、「要介護3以上」では31.9%と最も高くなっています。



【要介護度別】



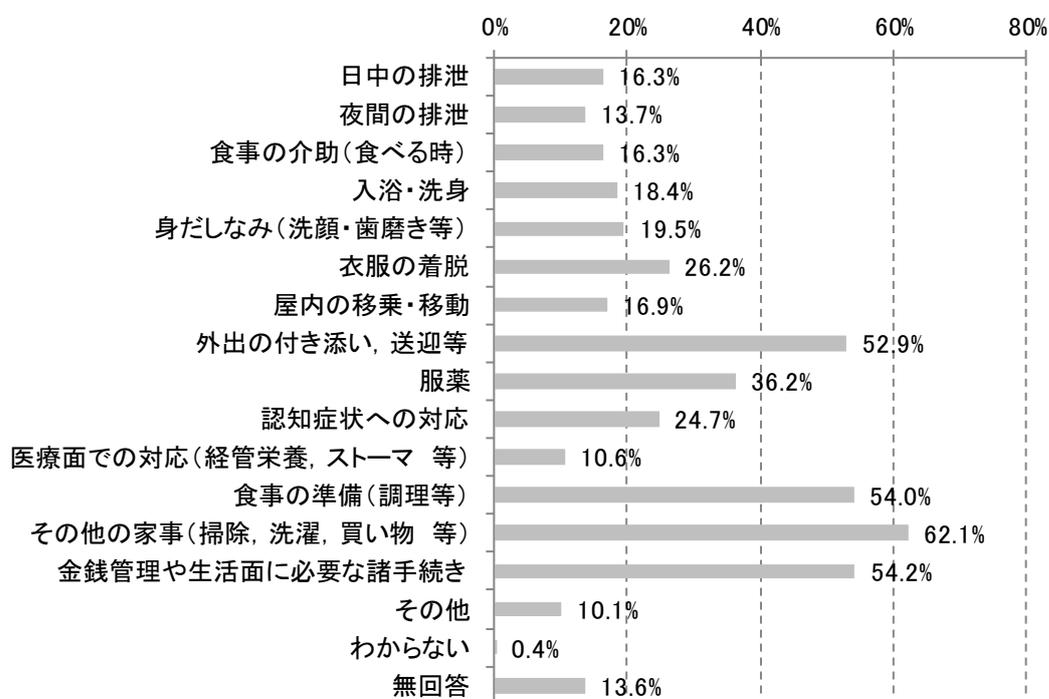
(6) 主な介護者が行っている介護

Q6. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について御回答ください。
 <あてはまるものすべてに○> (介護者に対する調査)

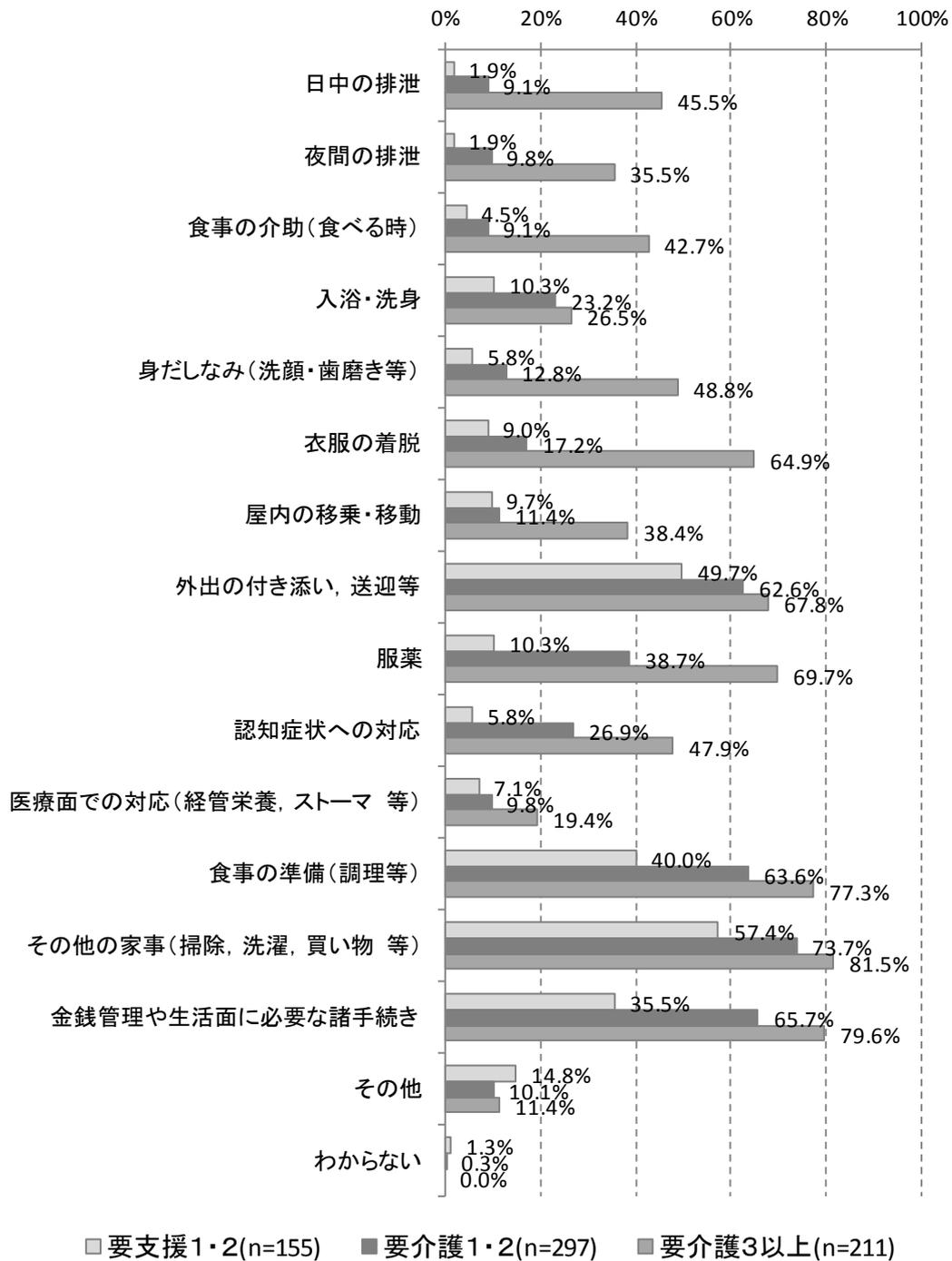
主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除，洗濯，買い物 等）」が 62.1%で最も高く，次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 54.2%，「食事の準備（調理等）」が 54.0%となっています。

要介護度別で見ると，すべての項目で要介護度が上がるとともに高くなっており，とりわけ「日中の排泄」，「夜間の排泄」，「食事の介助（食べる時）」，「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」，「衣服の着脱」，「屋内の移乗・移動」，「服薬」，「認知症上への対応」は，「要介護3以上」が「要介護1・2」に比べて大きく増加しています。

合計(n=789)



【要介護度別】

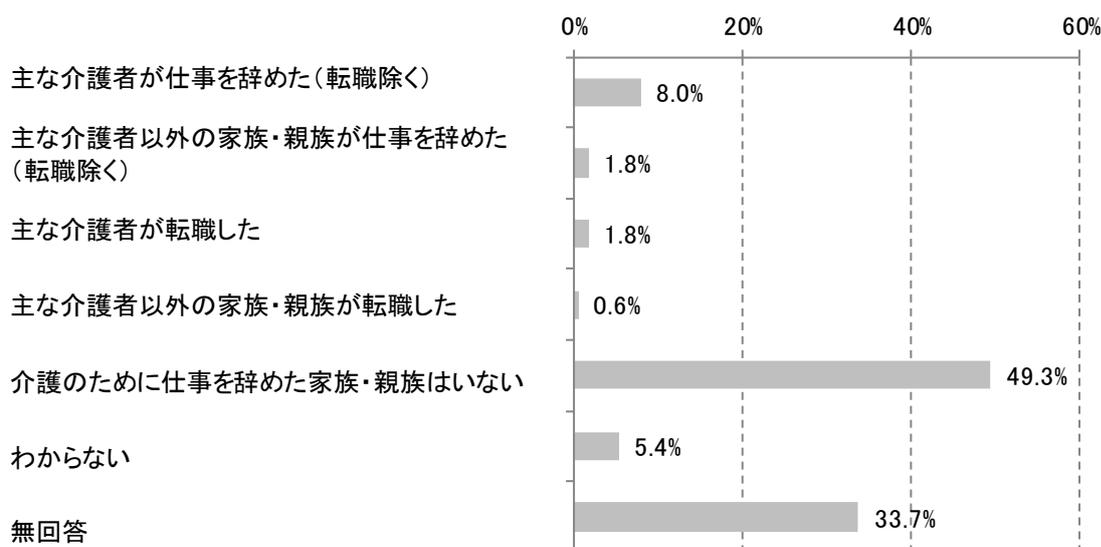


(7) 介護のための離職の有無

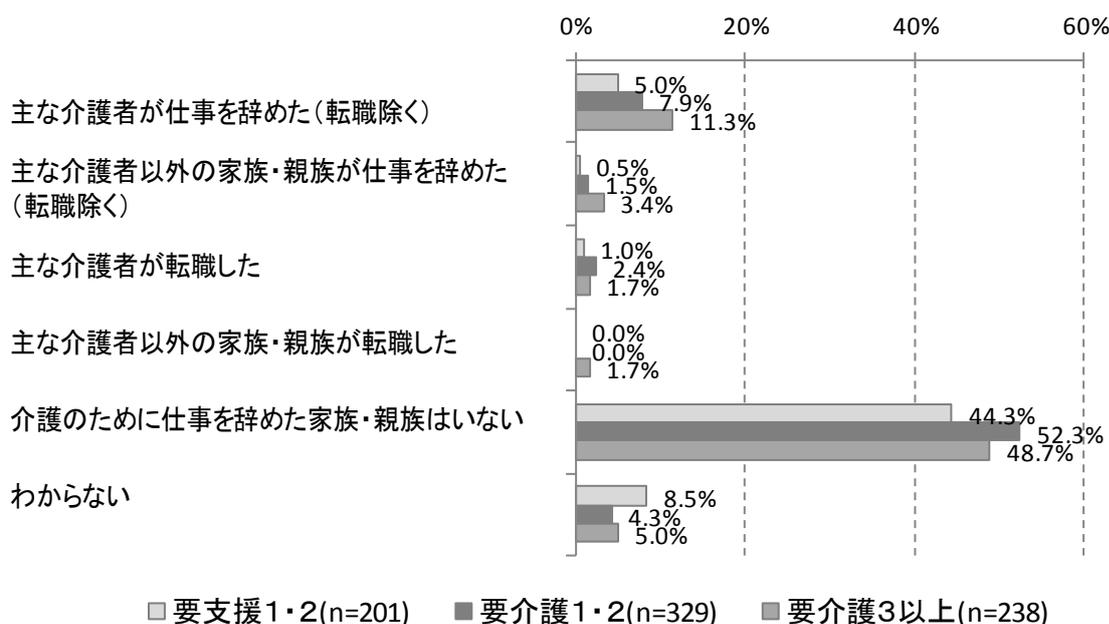
Q 2. 御家族や御親族の中で、御本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。）。※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。
 <あてはまるものすべてに○>（介護者に対する調査）

介護のための離職の有無は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が49.3%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.0%となっています。
 要介護度別でみると、大きな差異はみられません。

合計(n=789)



【要介護度別】



(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

Q9. あなたが現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、御回答ください。〈あてはまるものすべてに○〉

保険外の支援・サービスの利用状況は、「利用していない」が43.6%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が13.9%、「配食」が10.4%となっています。

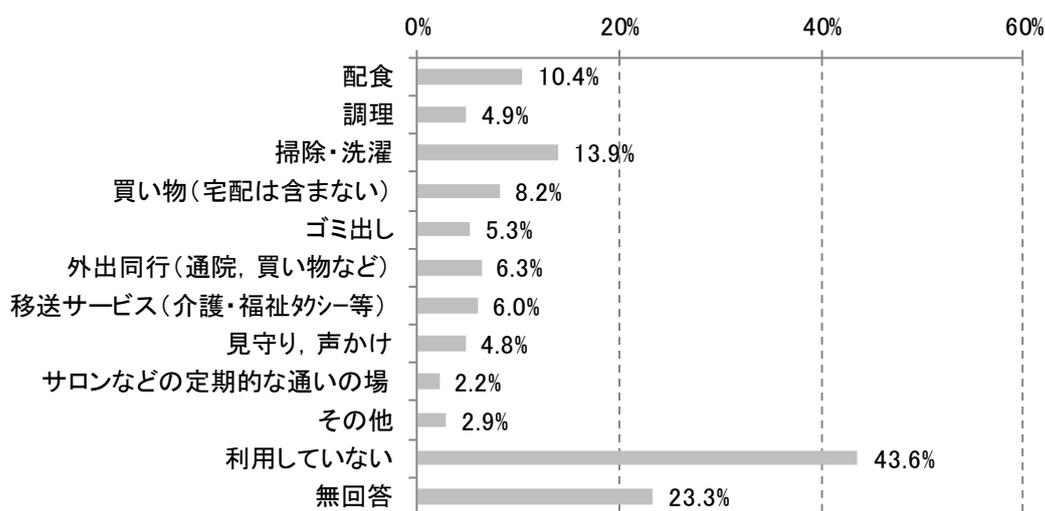
要介護度別でみると、要介護度が上がるとともに「配食」、「調理」、「買い物(宅配は含まない)」、「ゴミ出し」、「外出同行(通院, 買い物など)」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」、「見守り, 声かけ」が高くなっています。一方、要介護度が下がるとともに「掃除・洗濯」、「サロンなどの定期的な通いの場」、「利用していない」が高くなっています。

単身世帯において要介護度別でみると、要介護度が上がるとともに「配食」、「調理」、「掃除・洗濯」、「買い物(宅配は含まない)」、「ゴミ出し」、「外出同行(通院, 買い物など)」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」、「見守り, 声かけ」が高くなっています。なお、単身世帯ではすべての要介護度で、「夫婦のみ世帯」、「その他世帯」よりも「利用していない」が最も低くなっています。

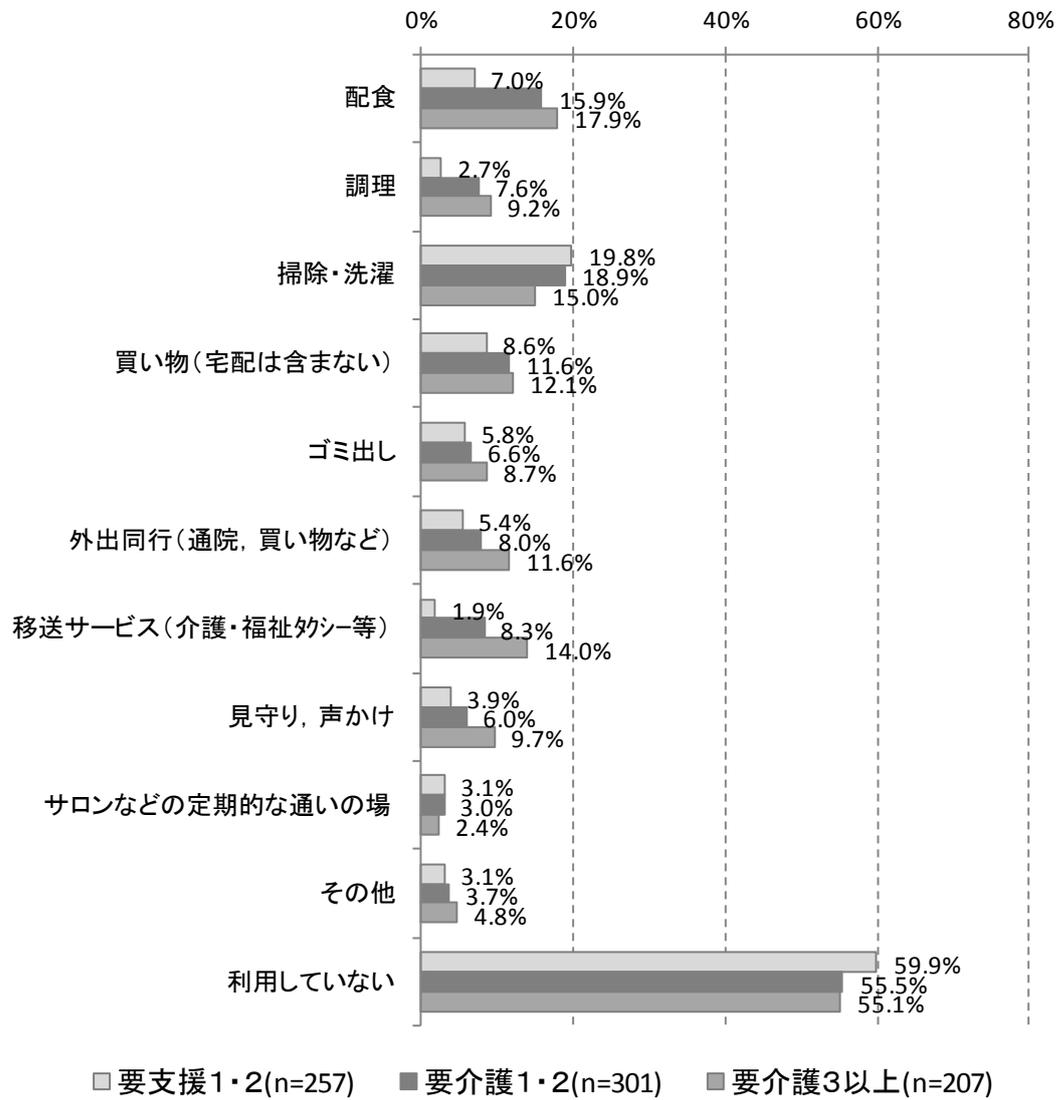
夫婦のみ世帯において要介護度別でみると、要介護度が上がるとともに「調理」、「外出同行(通院, 買い物など)」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が高くなっています。

その他世帯において要介護度別でみると、要介護度が上がるとともに「配食」、「見守り, 声かけ」が高くなっています。一方、要介護度が下がるとともに「利用していない」が高くなっています。

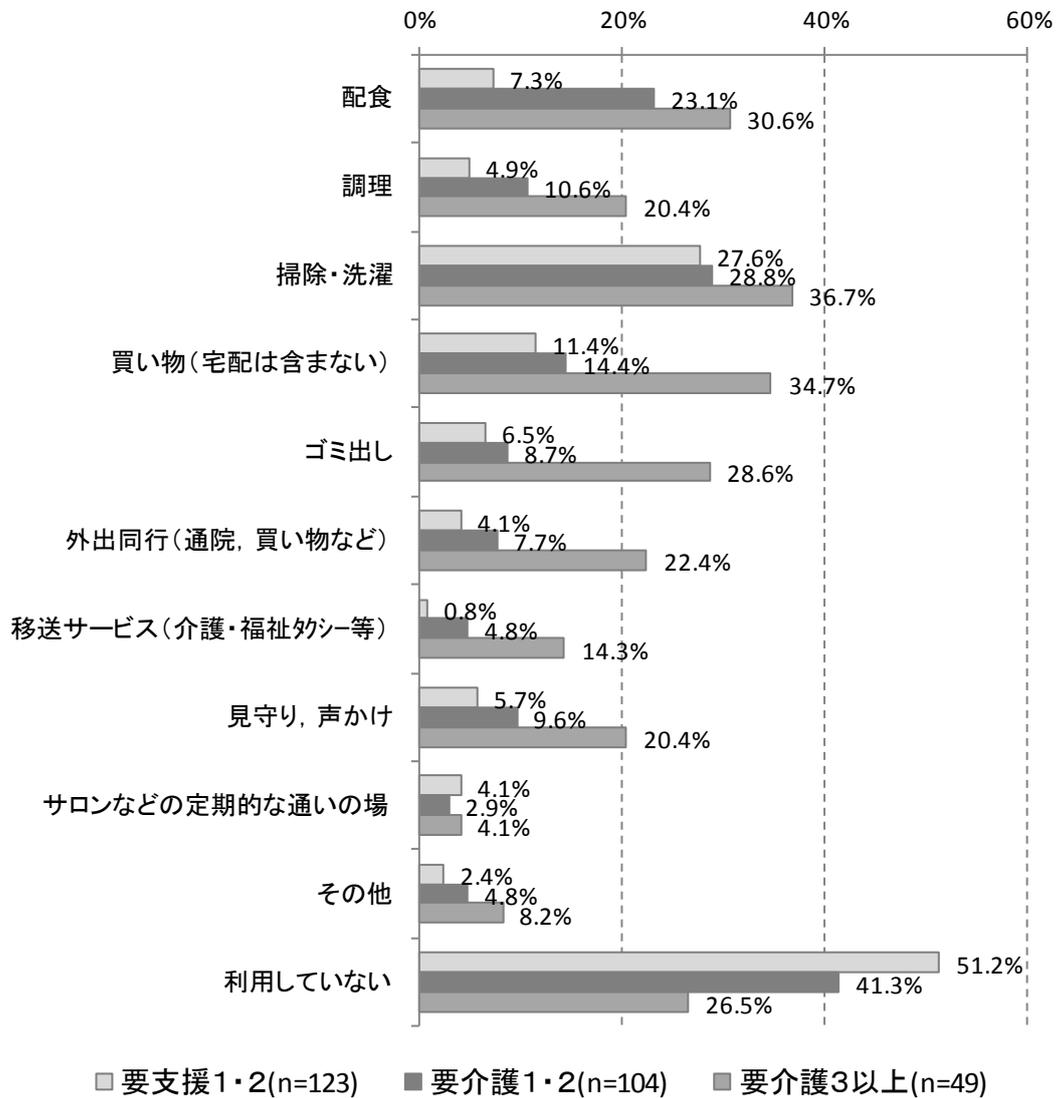
合計(n=1002)



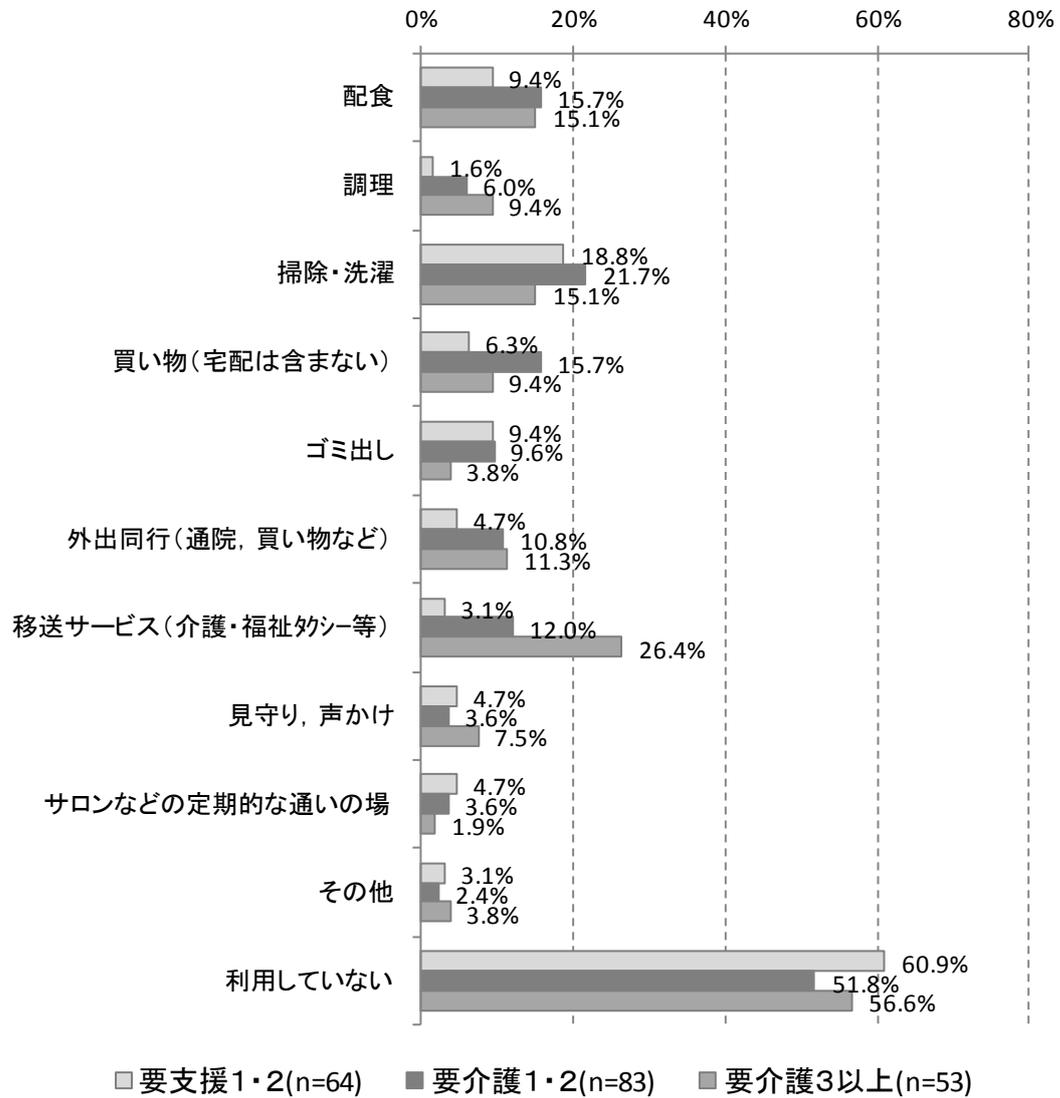
【要介護度別】



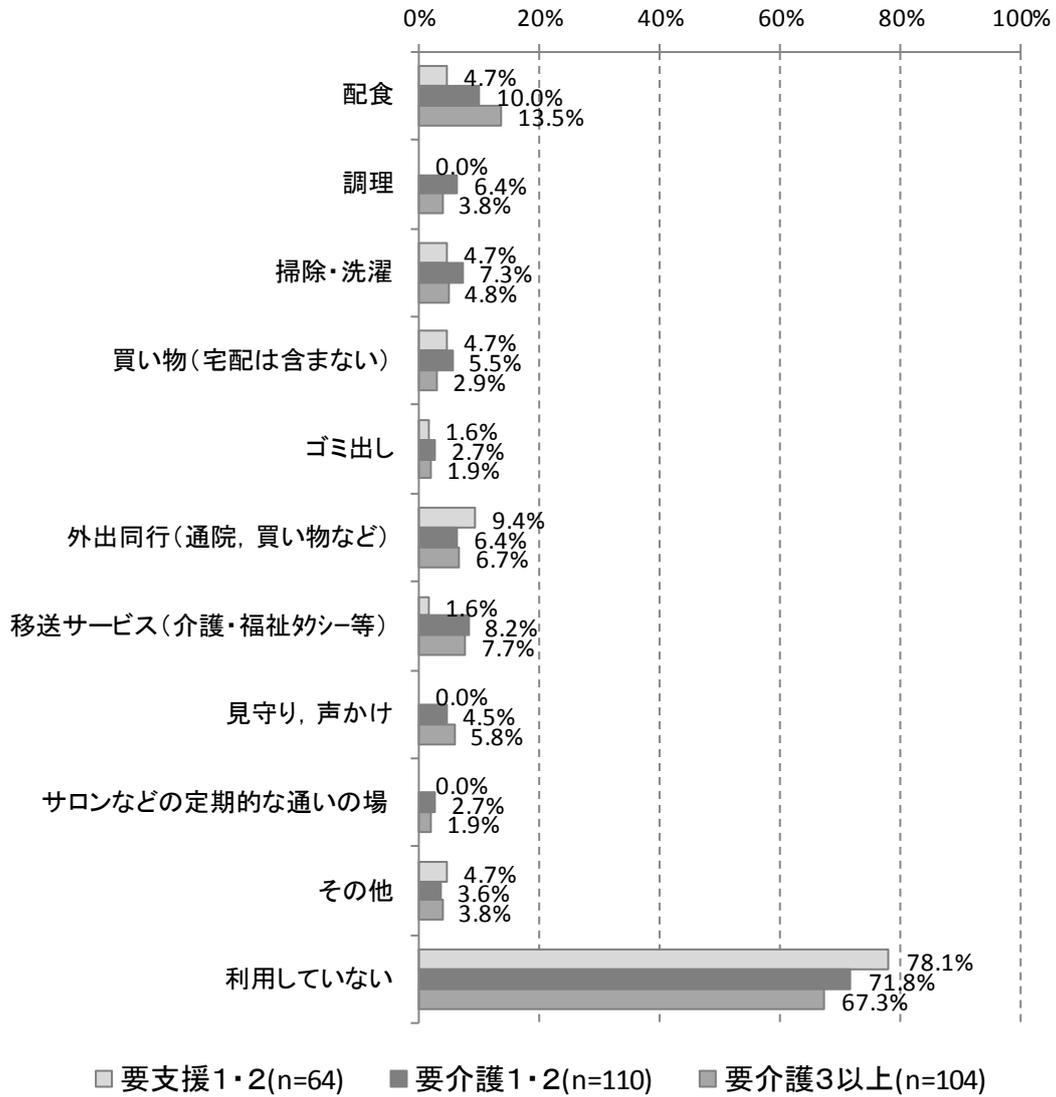
【要介護度別】（単身世帯）



【要介護度別】（夫婦のみ世帯）



【要介護度別】（その他世帯）



(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

Q10. あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む。）について、御回答ください。〈あてはまるものすべてに○〉

在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービスは、「特になし」を除いて「掃除・洗濯」が23.0%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が20.2%となっています。

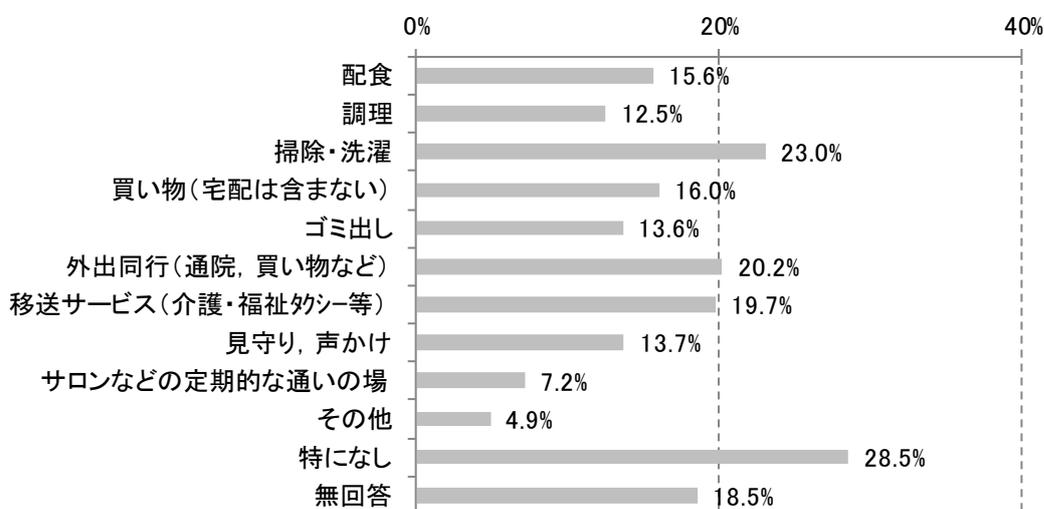
要介護度別でみると、要介護度が上がるとともに「配食」、「調理」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」が高くなっています。

単身世帯において要介護度別でみると、要介護度が上がるとともに「配食」、「調理」、「ゴミ出し」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」が高くなっています。なお、単身世帯では「要支援1・2」を除き、「夫婦のみ世帯」、「その他世帯」よりも「特になし」が最も低くなっています。

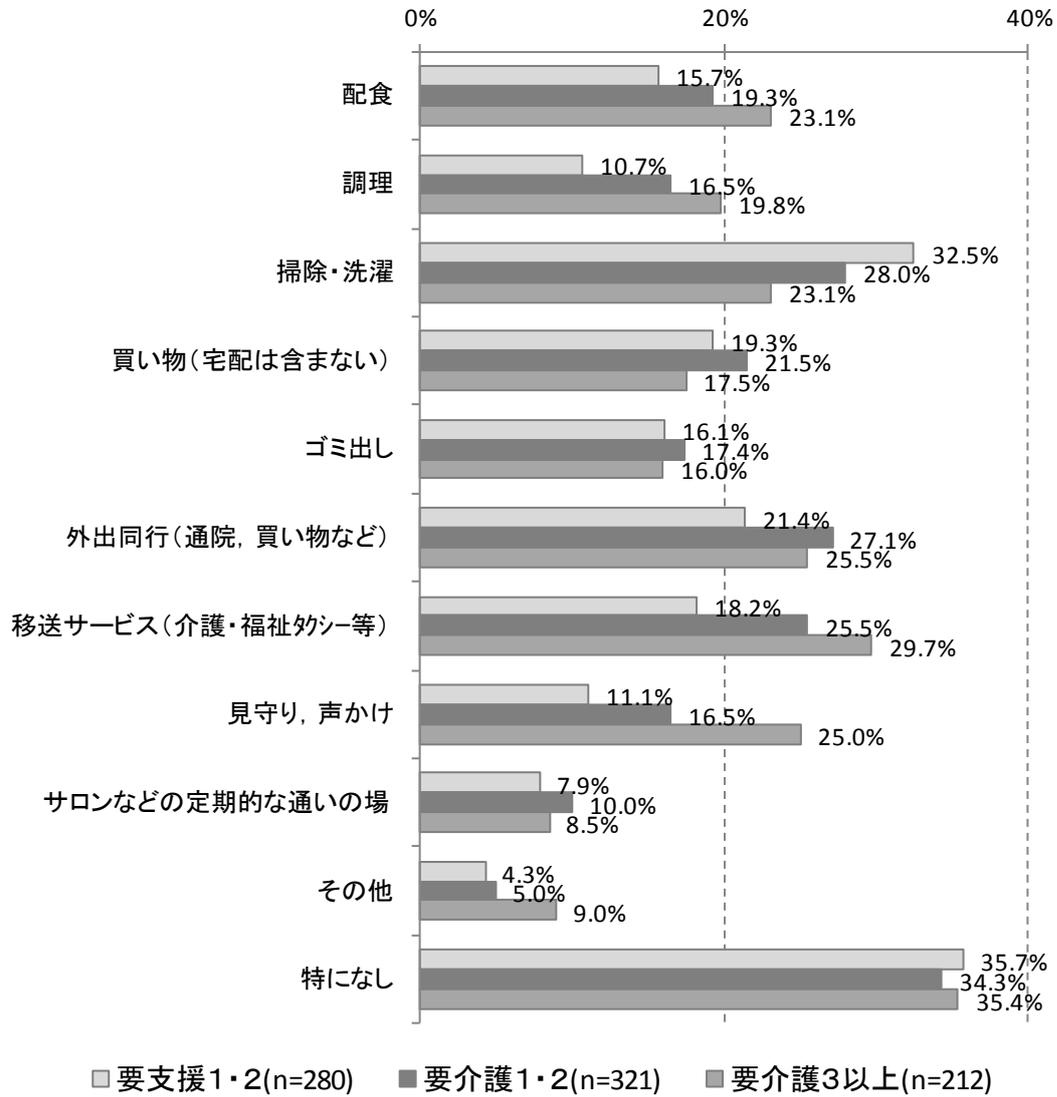
夫婦のみ世帯において要介護度別でみると、要介護度が上がるとともに「配食」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」が高くなっています。

その他世帯において要介護度別でみると、要介護度が上がるとともに「配食」、「調理」、「見守り、声かけ」が高くなっています。

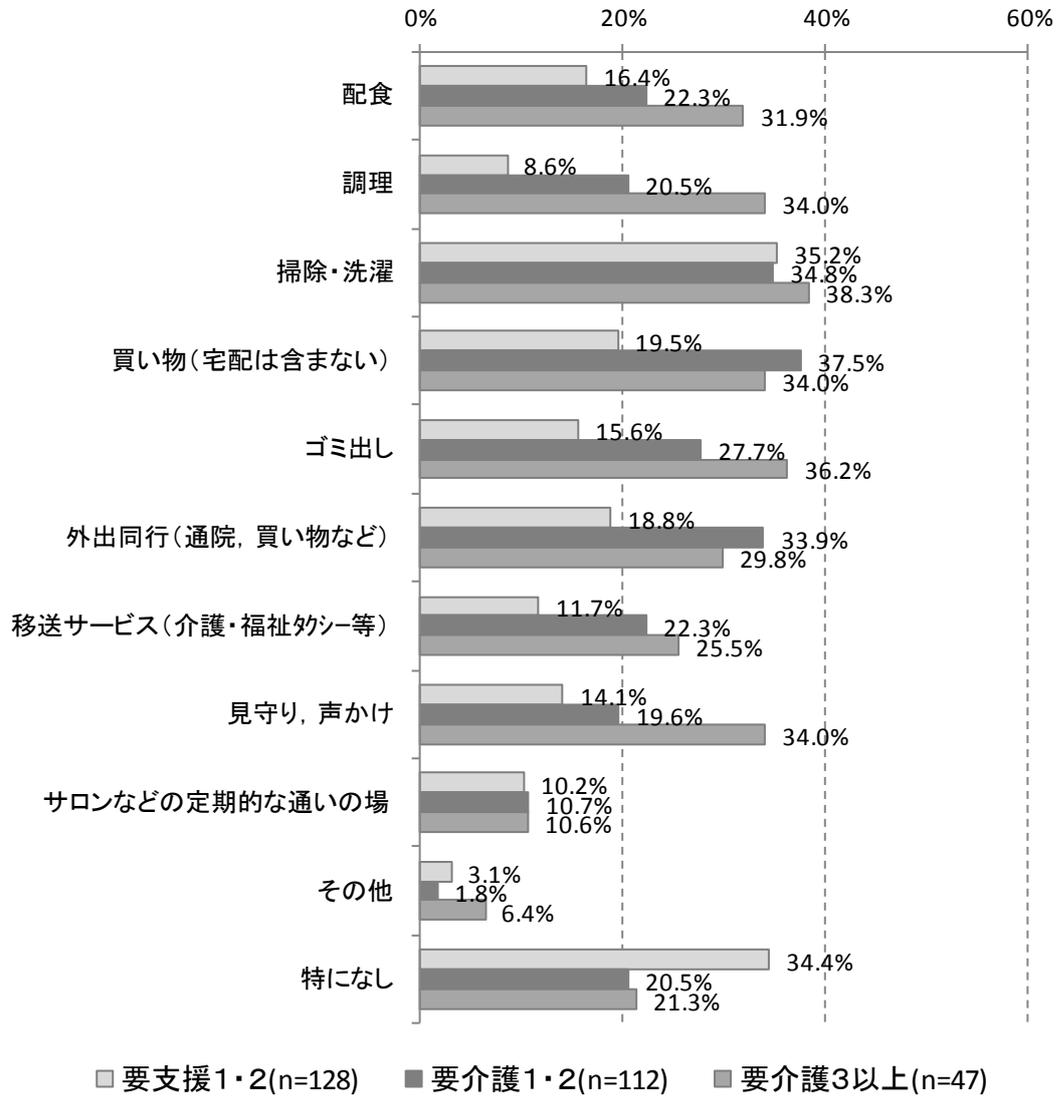
合計(n=1002)



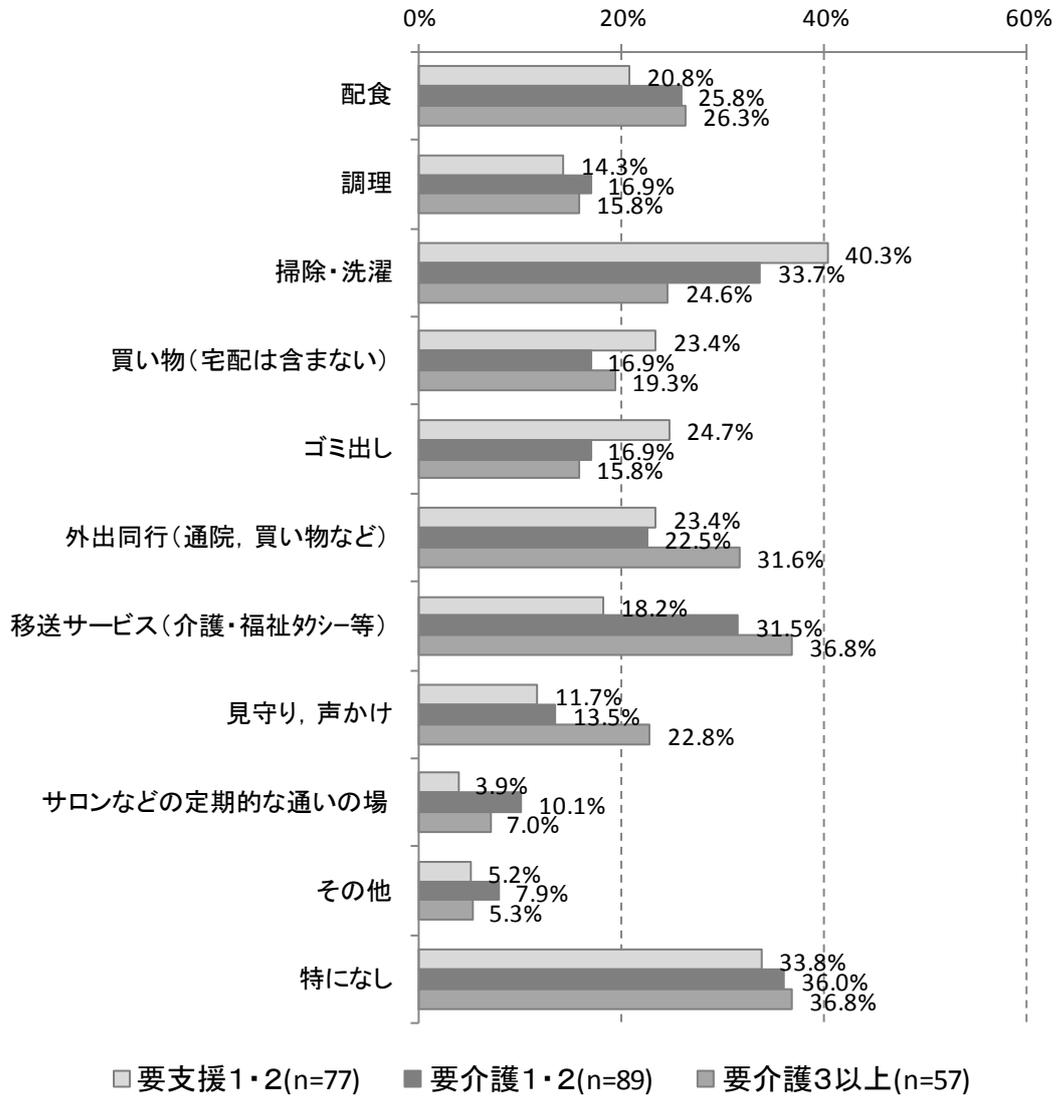
【要介護度別】



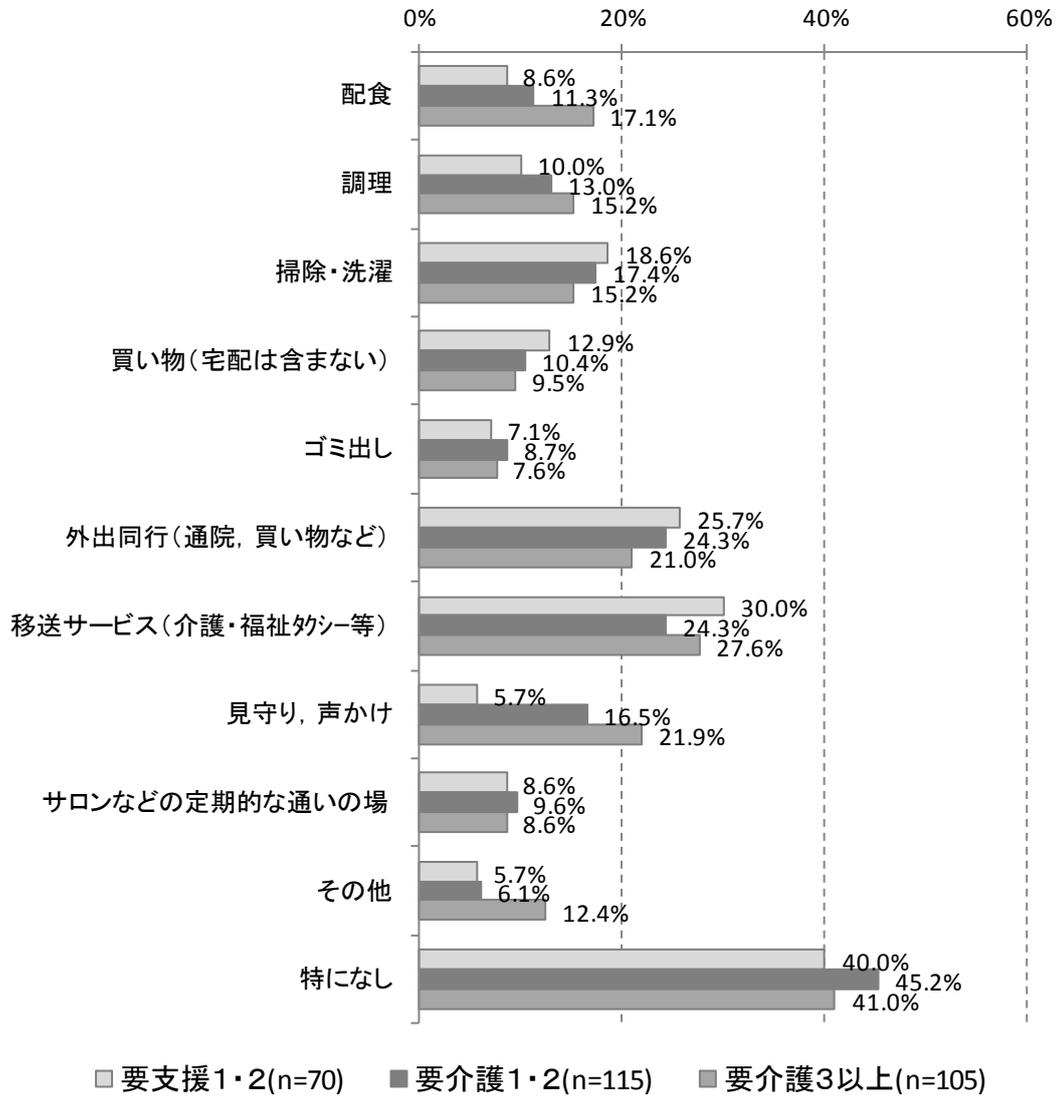
【要介護度別】（単身世帯）



【要介護度別】（夫婦のみ世帯）



【要介護度別】（その他世帯）



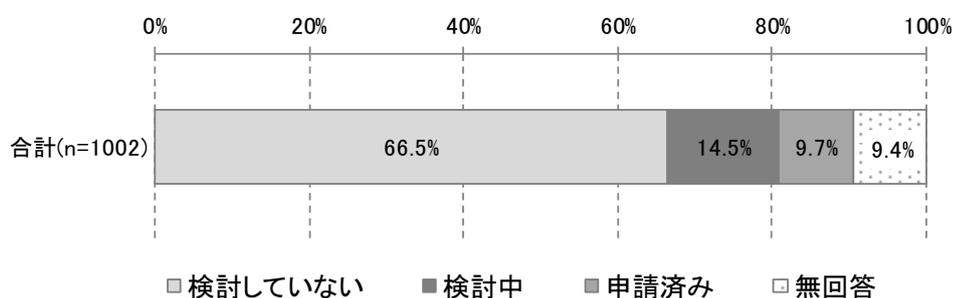
(10) 施設等検討の状況

Q6. あなたの現時点での施設等への入所・入居の検討状況について、御回答ください。〈〇は1つ〉

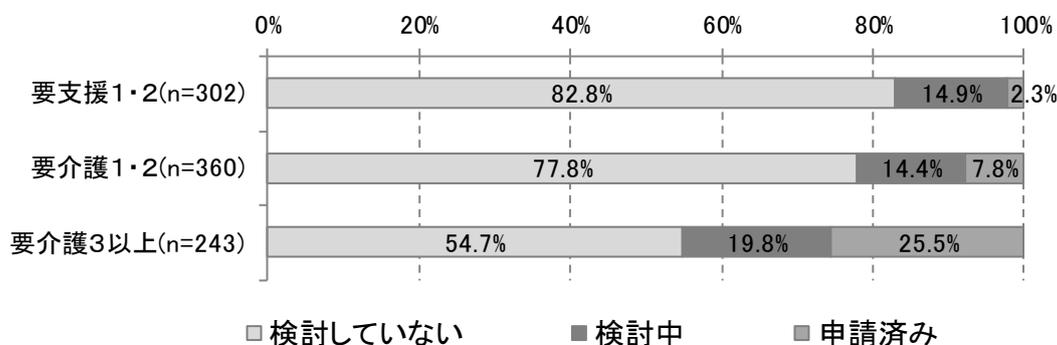
施設等検討の状況は、「検討していない」が66.5%で最も高く、次いで「検討中」が14.5%、「申請済み」が9.7%となっています。

要介護度別で見ると、要介護度が上がるとともに「申請済み」が高くなっています。一方、要介護度が下がるとともに「検討していない」が高くなっています。

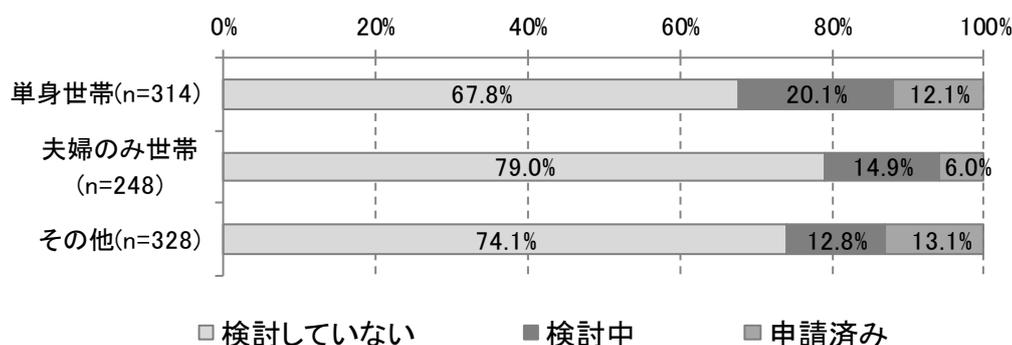
世帯類型別で見ると、他に比べ「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が高く、「単身世帯」では「検討中」が高くなっています。



【要介護度別】



【世帯類型別】

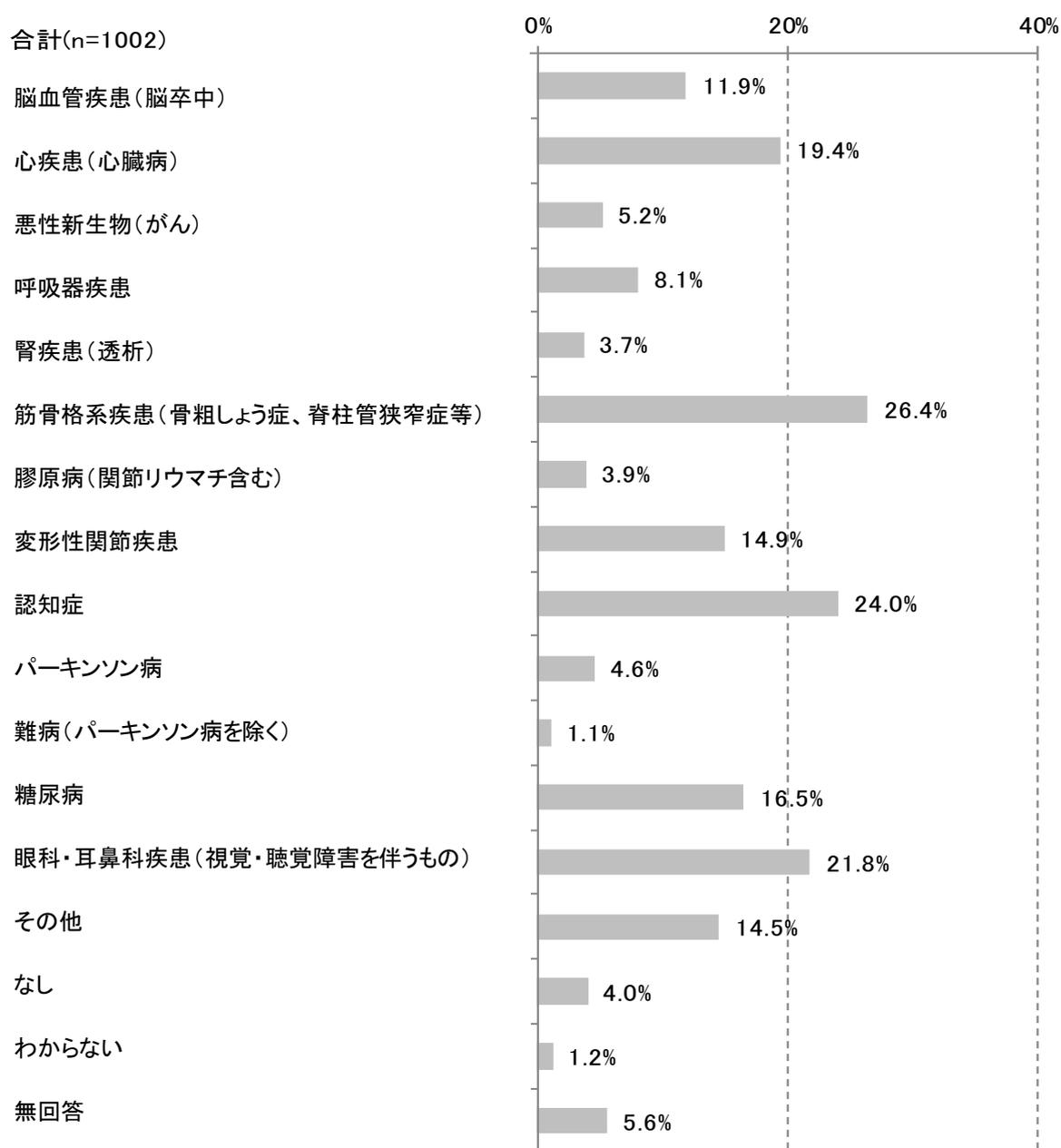


(11) 本人が抱えている傷病

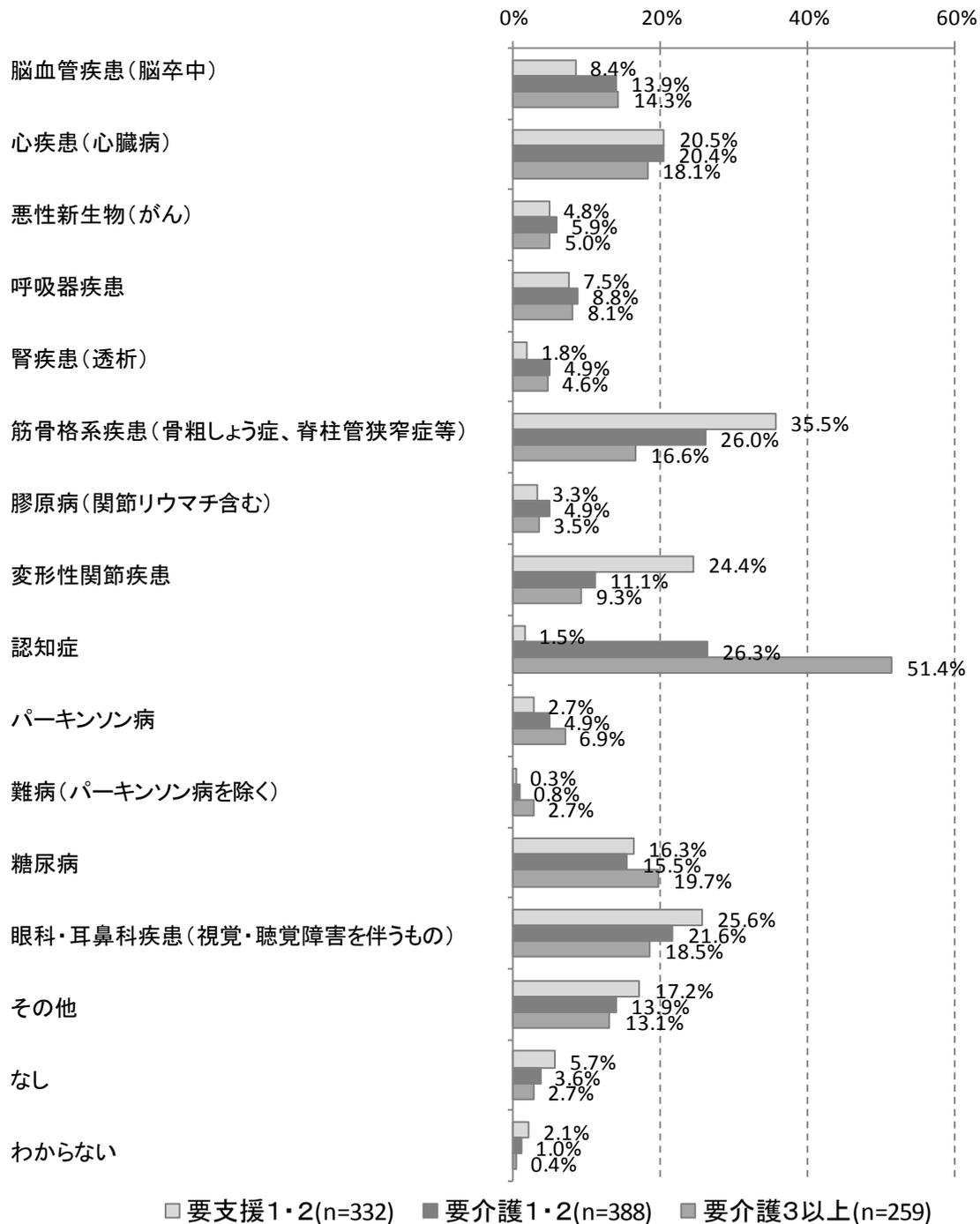
Q7. あなたが、現在抱えている傷病について、御回答ください。
 <あてはまるものすべてに○>

本人が抱えている傷病は、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症，脊柱管狭窄症等）」が26.4%で最も高く、次いで「認知症」が24.0%，「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が21.8%となっています。

要介護度別でみると、「要支援1・2」では、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症，脊柱管狭窄症等）」が35.5%と最も高くなっています。一方、「要介護1・2」，「要介護3以上」では，認知症が最も高くそれぞれ26.3%，51.4%となっています。



【要介護度別】



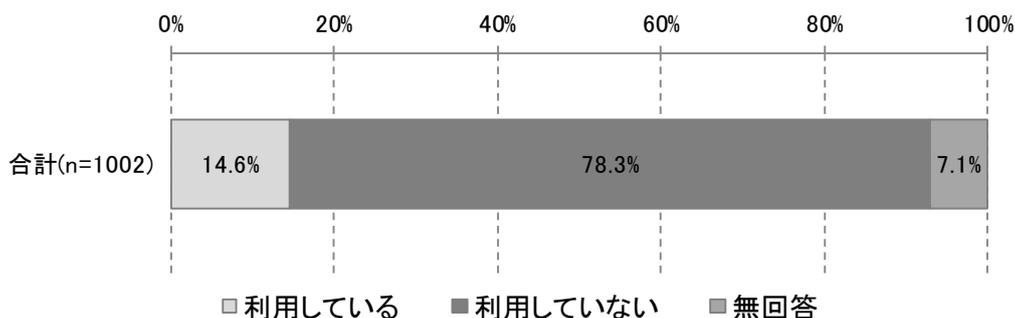
(12) 訪問診療の利用の有無

Q11. あらかじめ、かかりつけ医等の医師が診療計画を立てて、月1～2回など定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問診療といいます。
あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。〈○は1つ〉

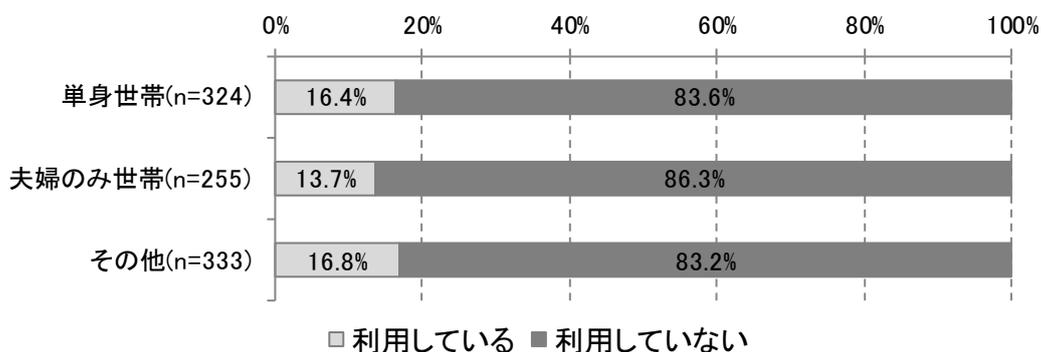
訪問診療の利用の有無は、「利用している」が14.6%、「利用していない」が78.3%となっています。

世帯類型別でみると、大きな差異はみられません。

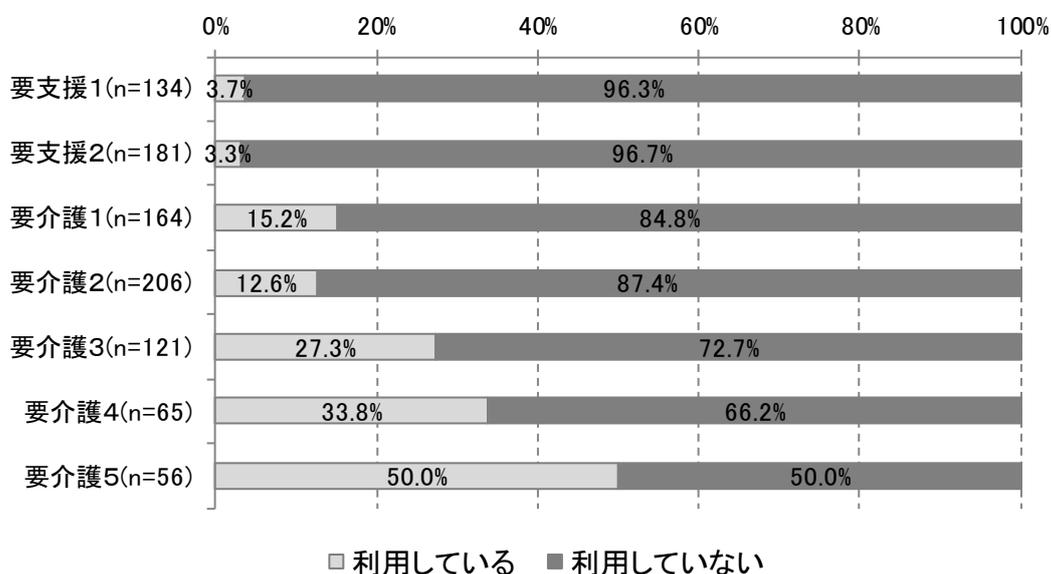
要介護度別でみると、概ね要介護度が上がるとともに「利用している」が高くなっています。



【世帯類型別】



【要介護度別】



(13) 介護保険サービスの利用の有無

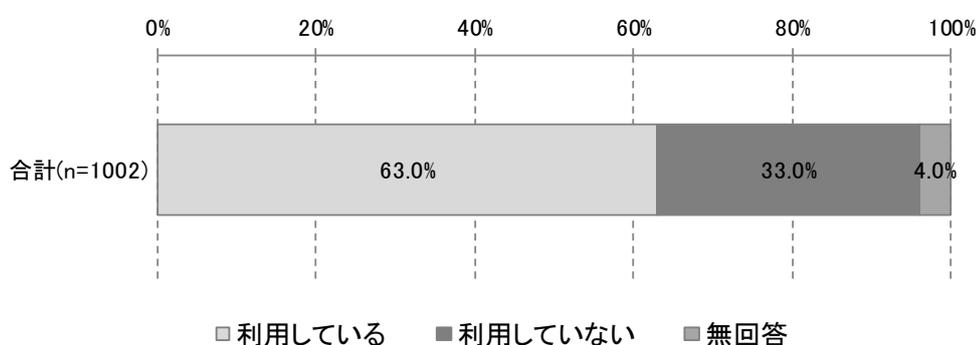
Q8. あなたが平成28年11月の1箇月の間に、(住宅改修, 福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用しましたか。〈〇は1つ〉

介護保険サービスの利用の有無は、「利用している」が63.0%、「利用していない」が33.0%となっています。

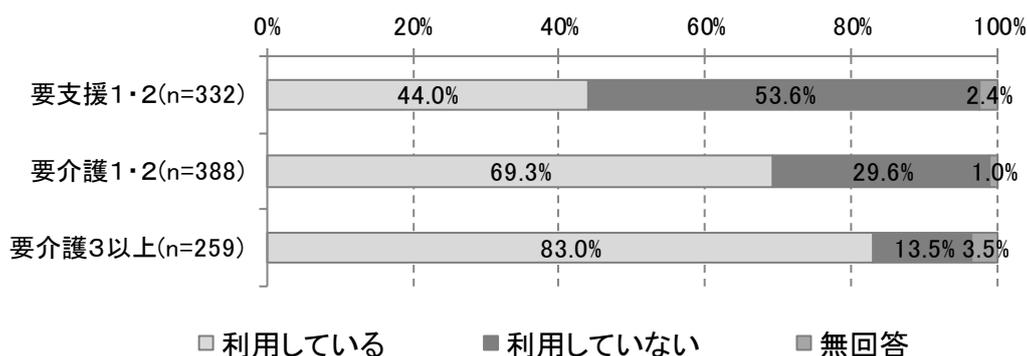
要介護度別でみると、要介護度が上がるとともに「利用している」が高くなっています。

主な介護者の就労状況別でみると、他に比べ「パートタイム勤務」では「利用している」が低くなっています。

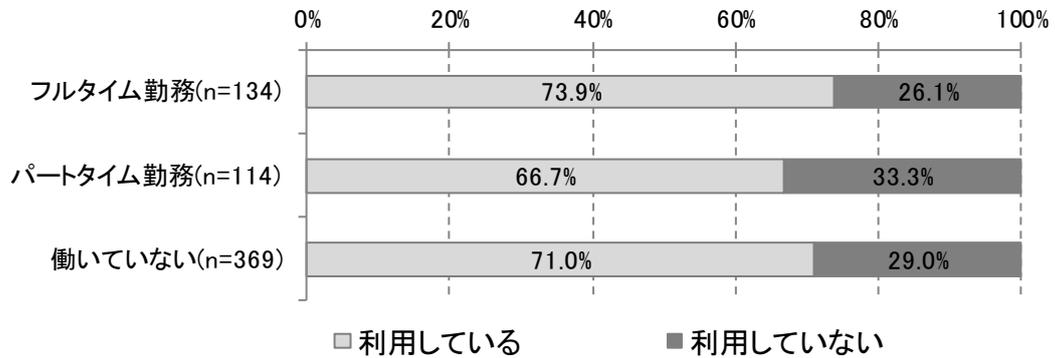
就労継続見込み別(主な介護者の方がフルタイム勤務及びパートタイム勤務者のみ)でみると、他に比べ「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が高くなっています。



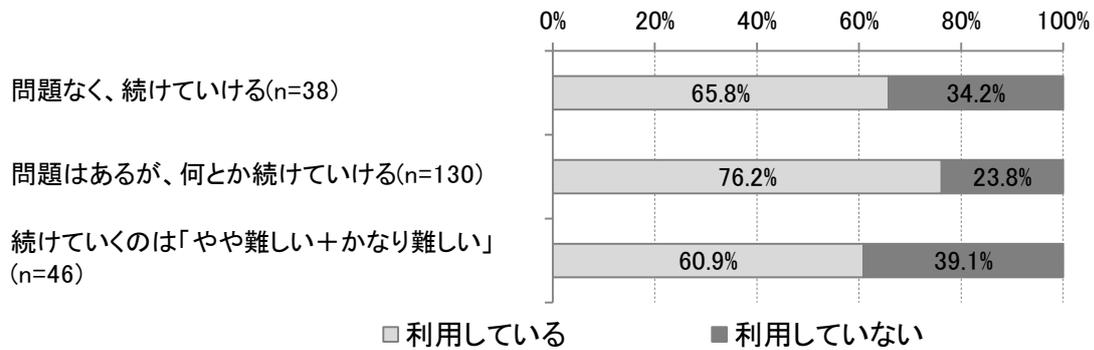
【要介護度別】



【主な介護者の就労状況別】



【就労継続見込み別】（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



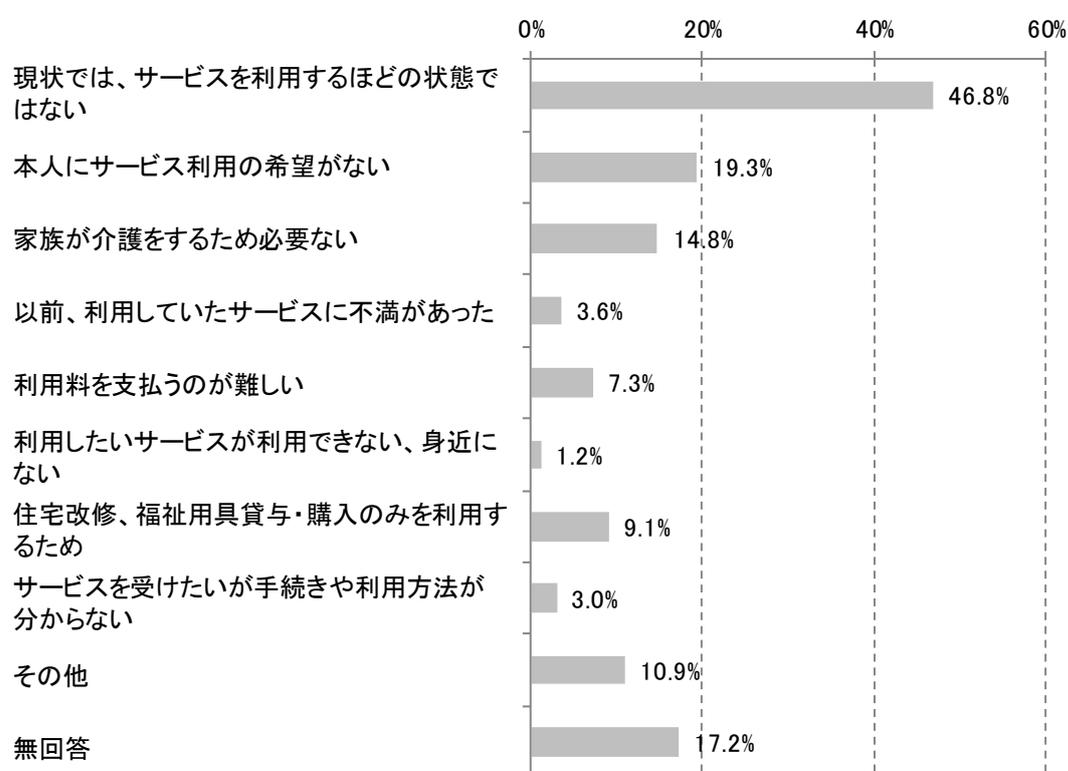
(14) 介護保険サービス未利用の理由

Q8-2. Q8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

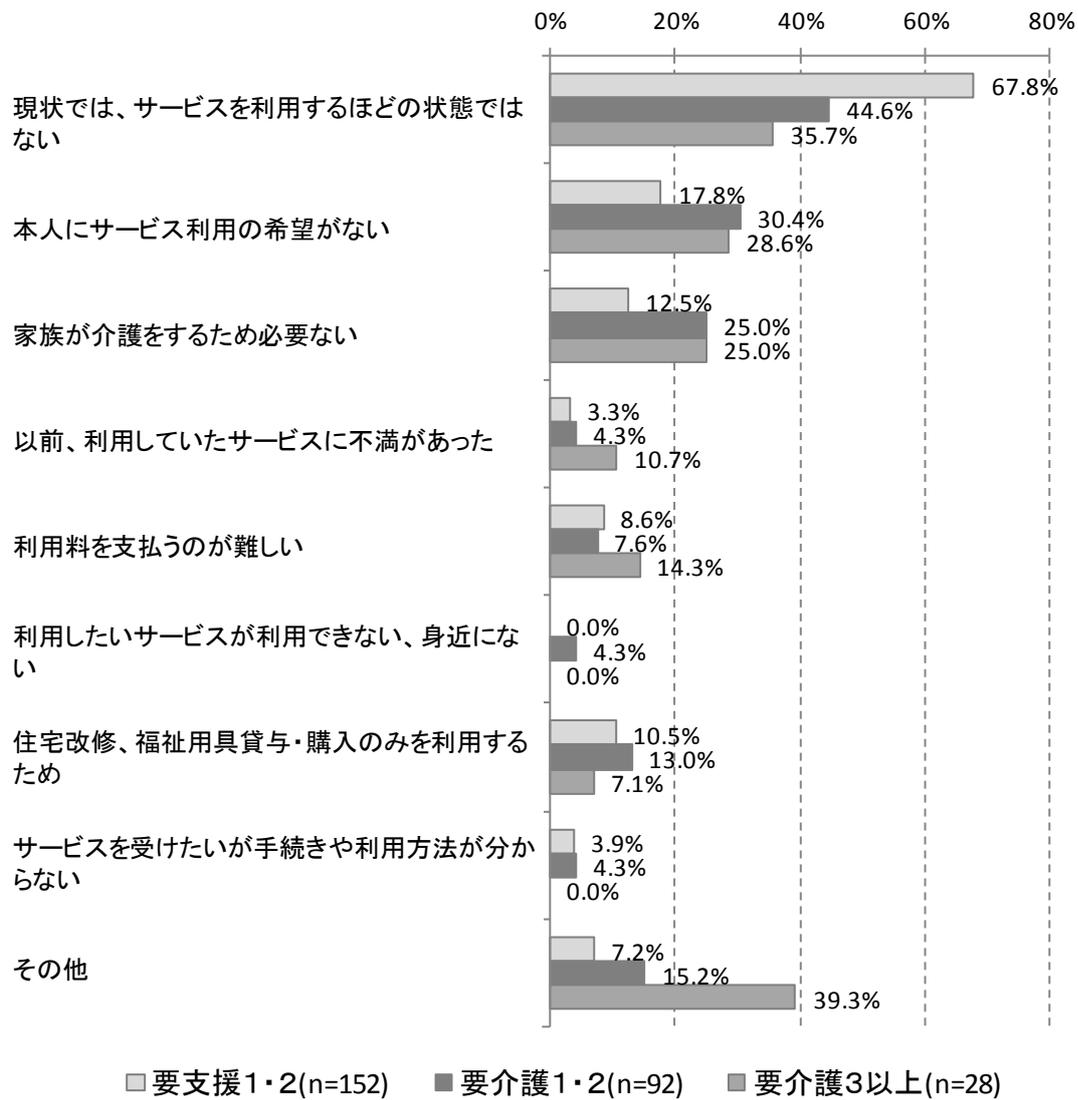
介護保険サービス未利用の理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が46.8%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が19.3%、「家族が介護をするため必要ない」が14.8%となっています。

要介護度別でみると、全ての要介護度で、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が高くなっています。なお、要介護度が下がるとともに「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が高くなっています。

合計(n=331)



【要介護度別】



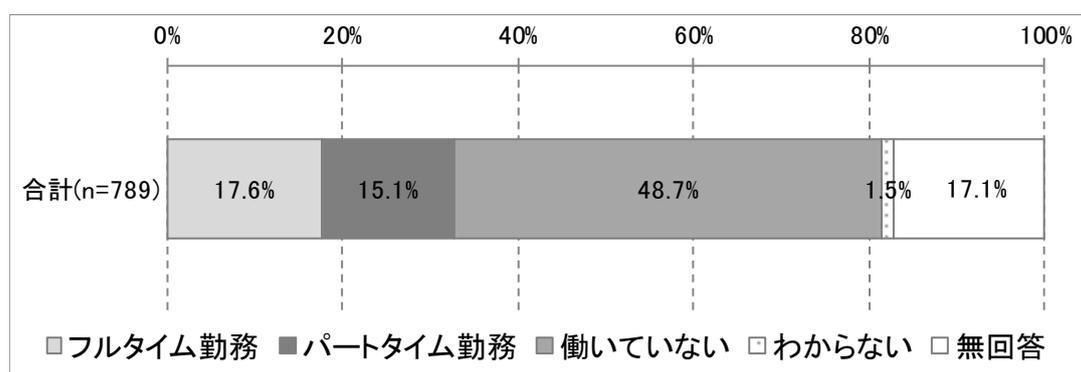
2 主な介護者の方に対する調査項目（B票）

（1）主な介護者の勤務形態

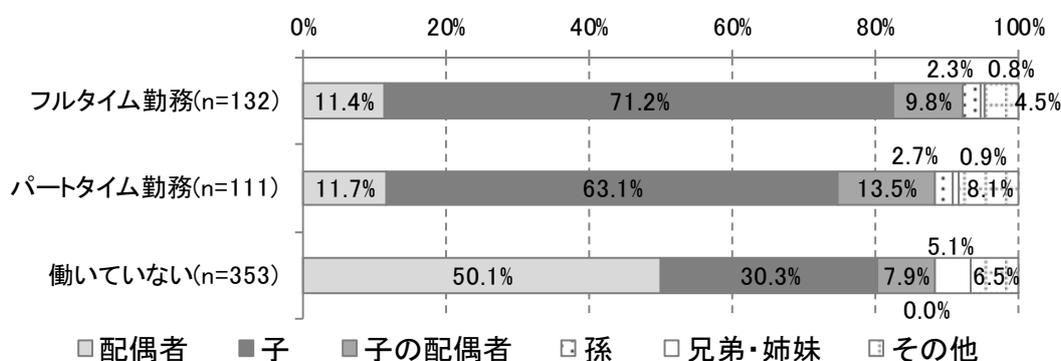
Q 8. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、御回答ください。〈〇は1つ〉
（介護者に対する調査）

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が48.7%で最も高く、次いで「フルタイム勤務」が17.6%、「パートタイム勤務」が15.1%となっています。

主な介護者と本人の関係別でみると、他に比べ「働いていない」では「配偶者」が高く、「フルタイム勤務」、「パートタイム勤務」では「子」が高くなっています。



【主な介護者と本人の関係別】



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

Q8-1. Q8で「1. フルタイムで働いている」又は「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
〈あてはまるものすべてに○〉（介護者に対する調査）

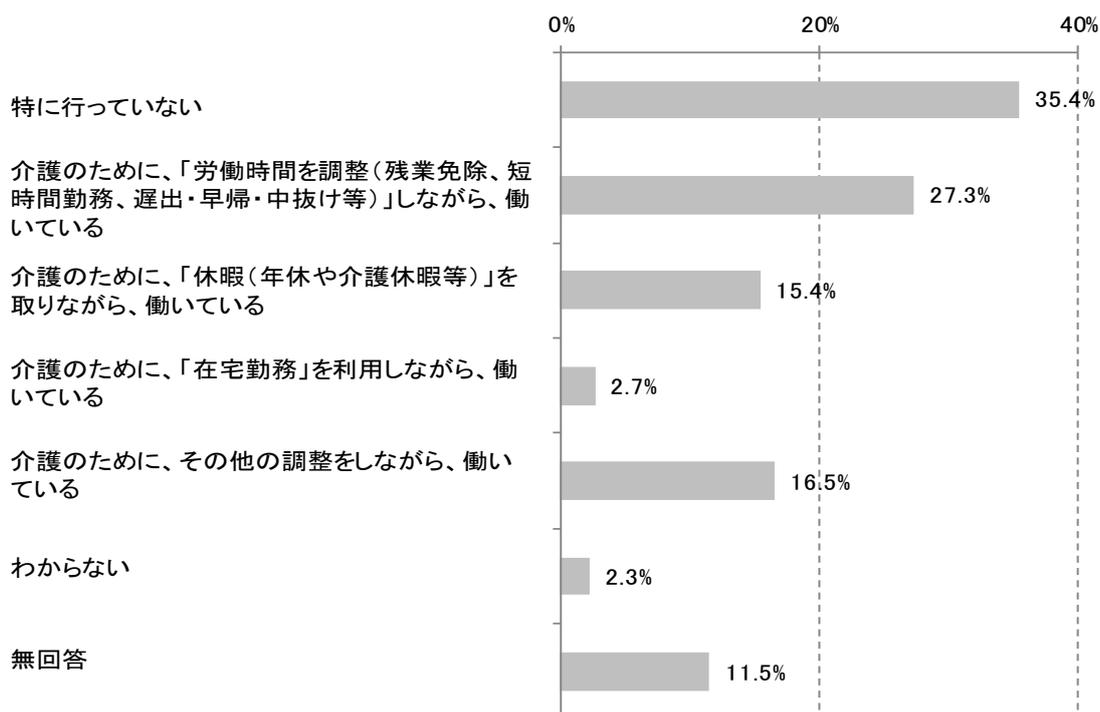
主な介護者の方の働き方の調整の状況は、「特に行っていない」が35.4%で最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が27.3%、「介護のために、その他の調整をしながら、働いている」が16.5%となっています。

要介護度別でみると、「要支援1・2」では「特に行っていない」が高く、「要介護1・2」では「特に行っていない」、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が高く、「要介護3以上」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」、「介護のために、その他の調整をしながら働いている」が高くなっています。なお、要介護度が上がるとともに「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」、「介護のために、その他の調整をしながら、働いている」が高くなっています。

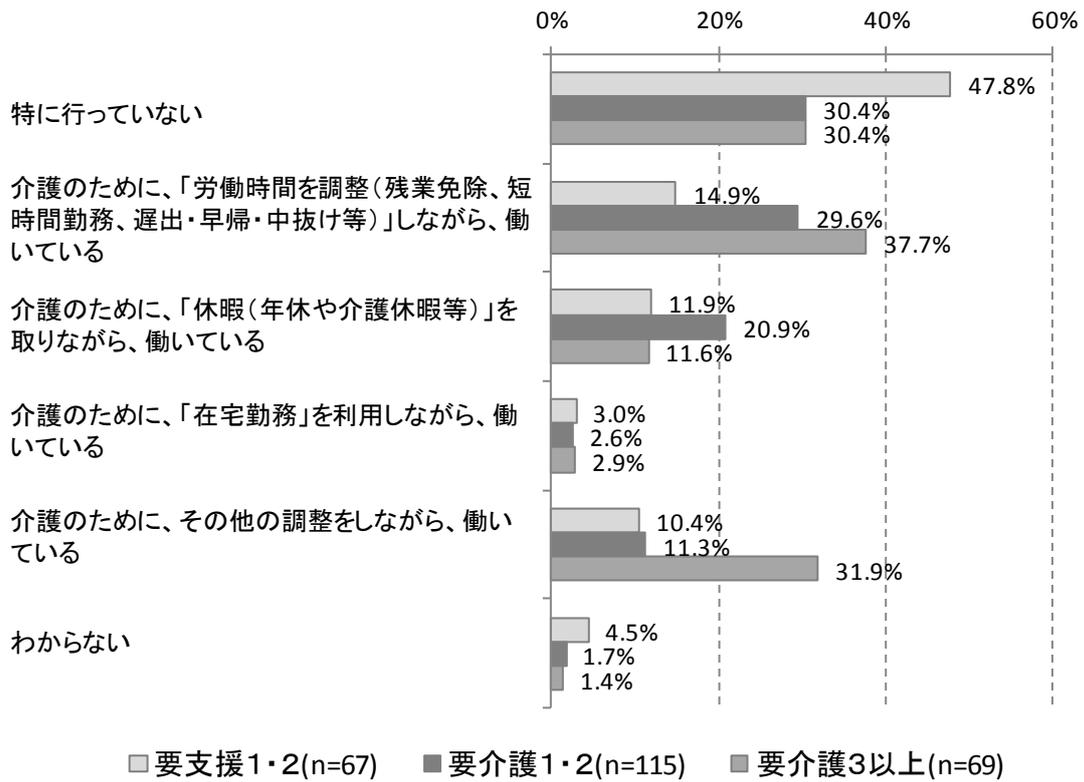
就労状況別でみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が最も高く、「パートタイム勤務」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が最も高くなっています。

就労継続見込み別（主な介護者の方がフルタイム勤務及びパートタイム勤務者のみ）でみると、「問題はあがるが、何とか続けていける」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が38.2%、「続けていくのは「やや難しい＋かなり難しい」」では「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が38.6%と最も高くなっています。

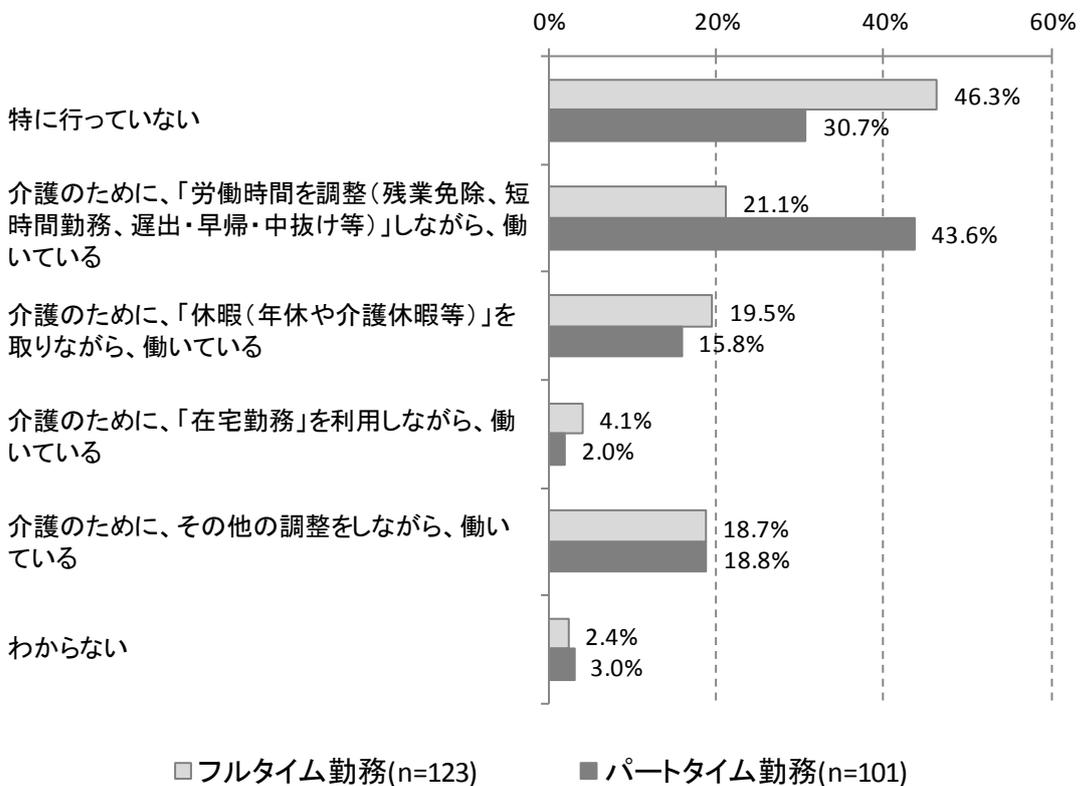
合計(n=260)



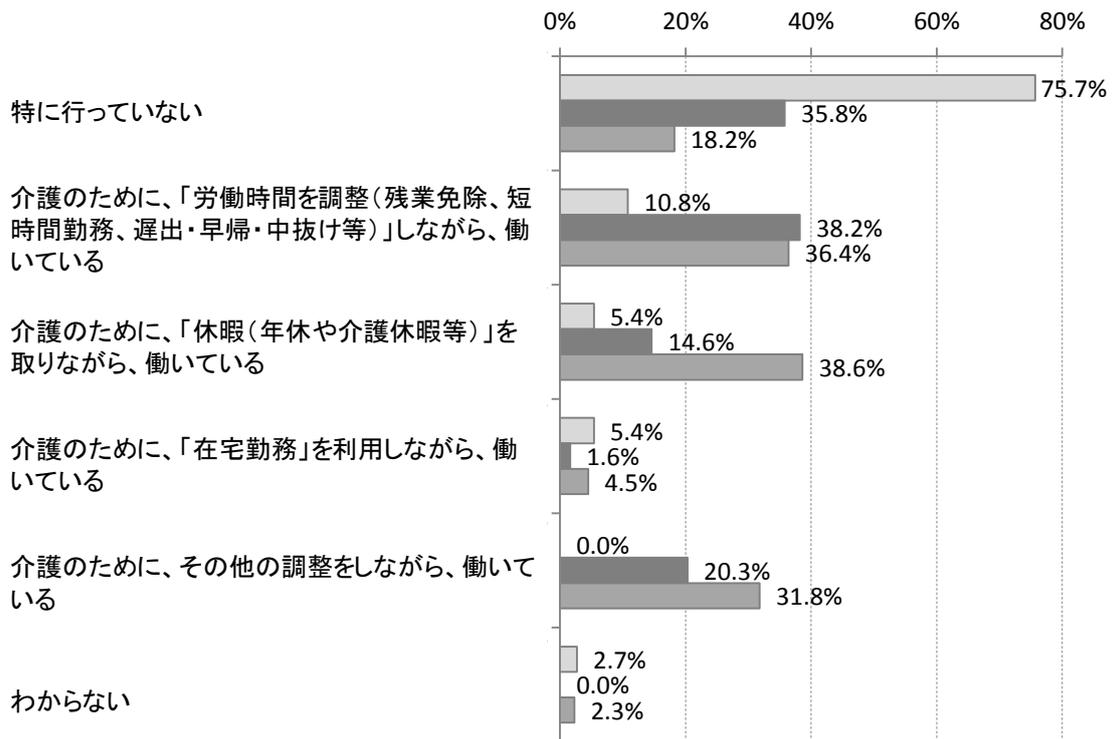
【要介護度別】



【就労状況別】



【就労継続見込み別】（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



- 問題なく、続けていける(n=37)
- 問題はあるが、何とか続けていける(n=123)
- 続けていくのは「やや難しい＋かなり難しい」(n=44)

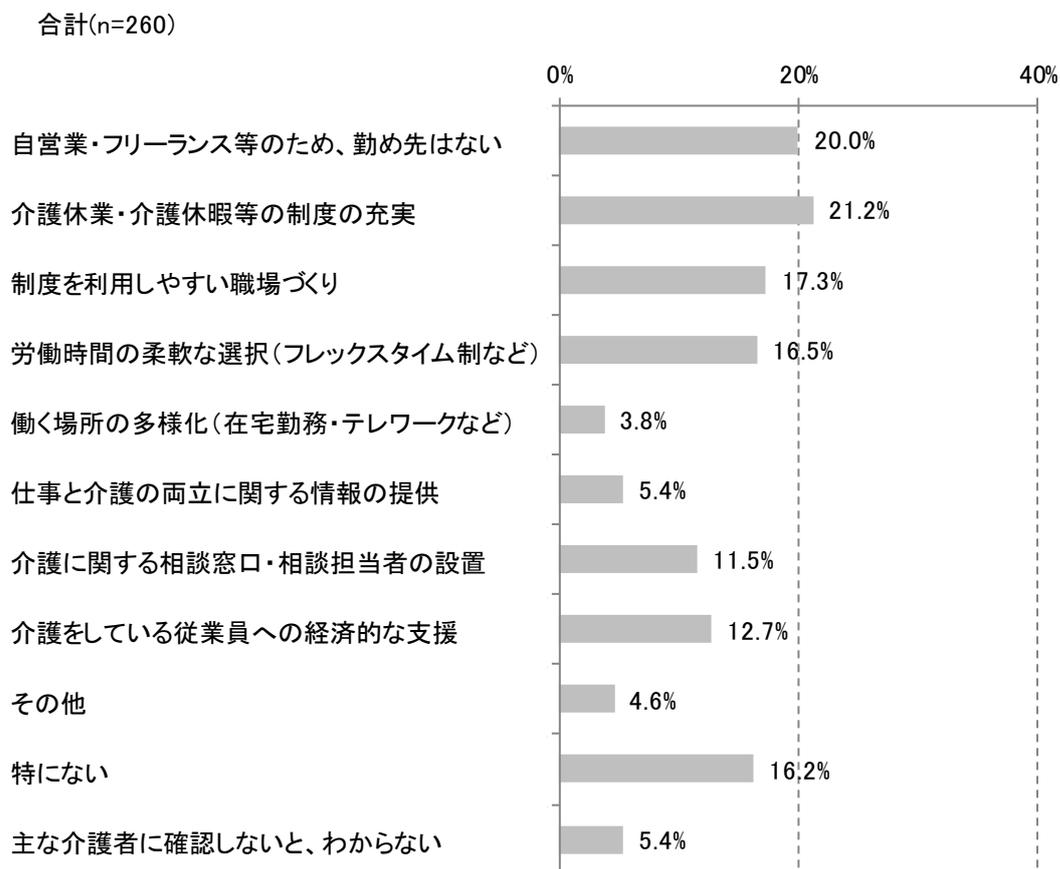
(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

Q8-2. Q8で「1. フルタイムで働いている」又は「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。
 <〇は3つまで> (介護者に対する調査)

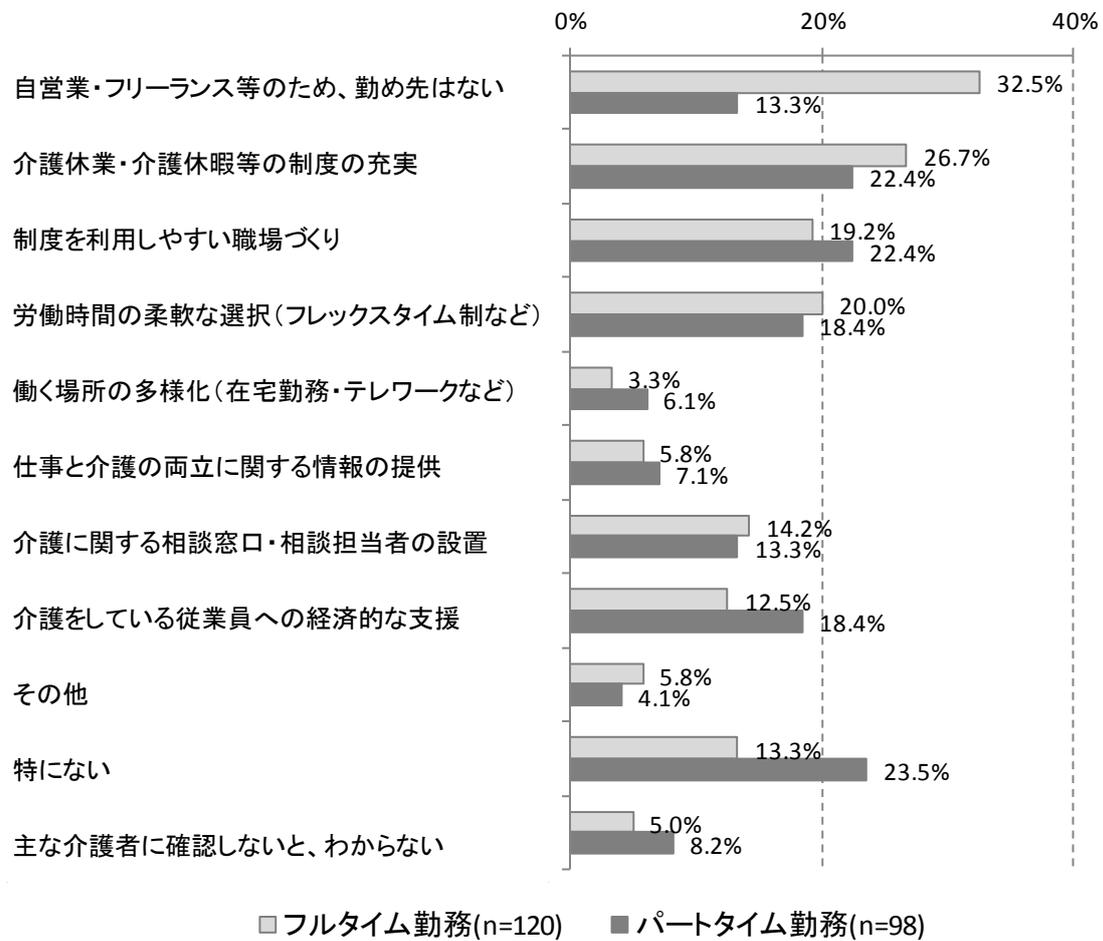
就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が21.2%で最も高く、次いで、「制度を利用しやすい職場づくり」が17.3%となっています。

就労状況別でみると、「フルタイム勤務」では「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が最も高く、「パートタイム勤務」では「特にない」が最も高くなっています。

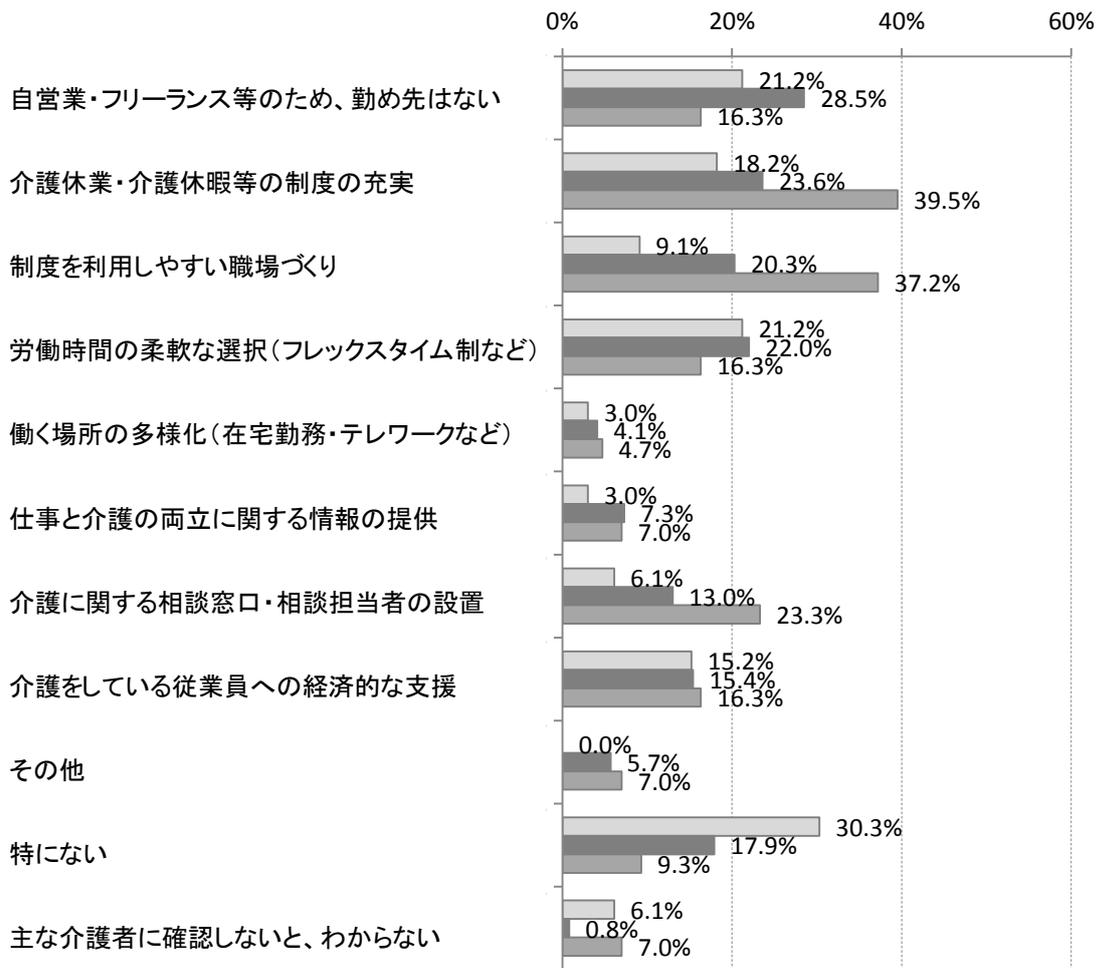
就労継続見込み別（主な介護者の方がフルタイム勤務及びパートタイム勤務者のみ）でみると、「問題なく、続けていける」では「特にない」が30.3%、「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が23.6%、「続けていくのは「やや難しい+かなり難しい」」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が39.5%と高くなっています。



【就労状況別】



【就労継続見込み別】（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



□ 問題なく、続けていける(n=33)

■ 問題はあるが、何とか続けていける(n=123)

■ 続けていくのは「やや難しい＋かなり難しい」(n=43)

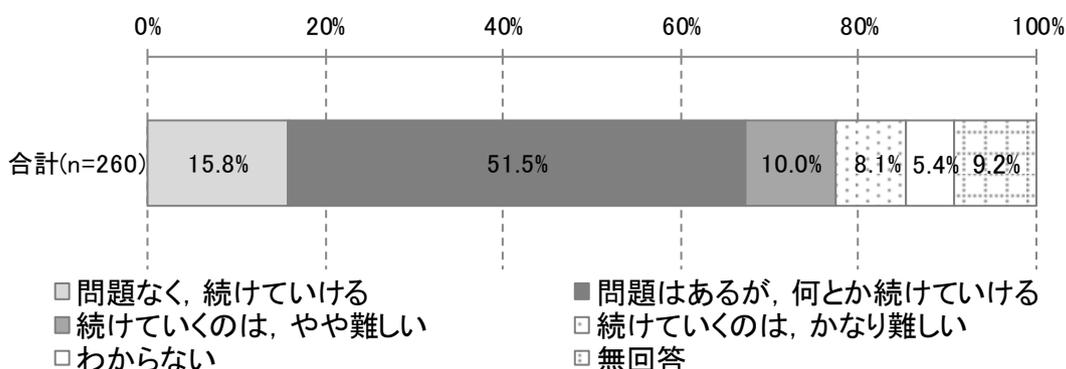
(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

Q8-3. Q8で「1. フルタイムで働いている」又は「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。〈○は1つ〉（介護者に対する調査）

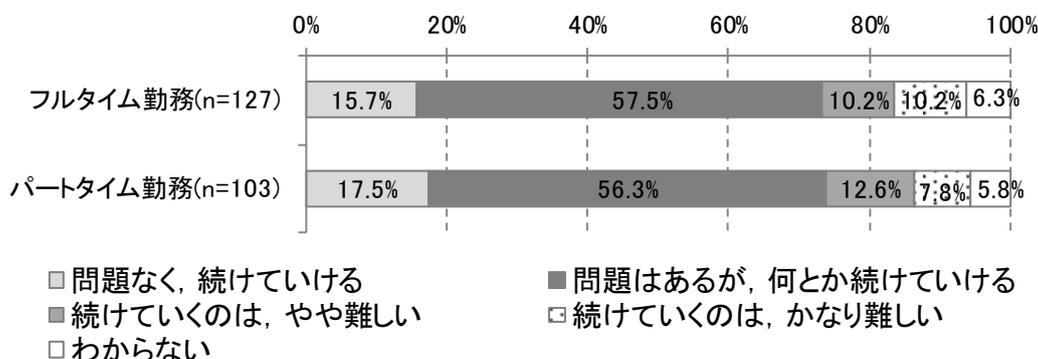
主な介護者の就労継続の可否に係る意識は、「問題はあるが、何とか続けていける」が51.5%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が15.8%、「続けていくのは、やや難しい」が10.0%となっています。

就労状況別でみると、大きな差異はみられません。

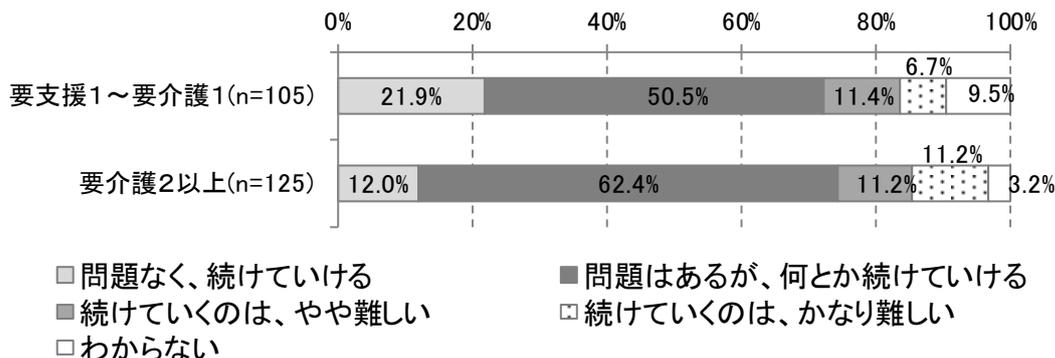
要介護度別でみると、要支援1～要介護1に比べ、要介護2以上で「問題なく、続けていける」が9.9ポイント低く「問題はあるが、何とか続けていける」が11.9ポイント高くなっています。



【就労状況別】



【要介護度別】



(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

Q7. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について御回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。
〈〇は3つまで〉（介護者に対する調査）

今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護は、「認知症状への対応」が16.9%で最も高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が13.1%、「外出の付き添い、送迎等」が12.5%となっています。

要介護度別でみると、「要支援1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が高く、「要介護1・2」以上では「認知症状への対応」が高くなっています。要介護度が上がるとともに「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が高くなっています。

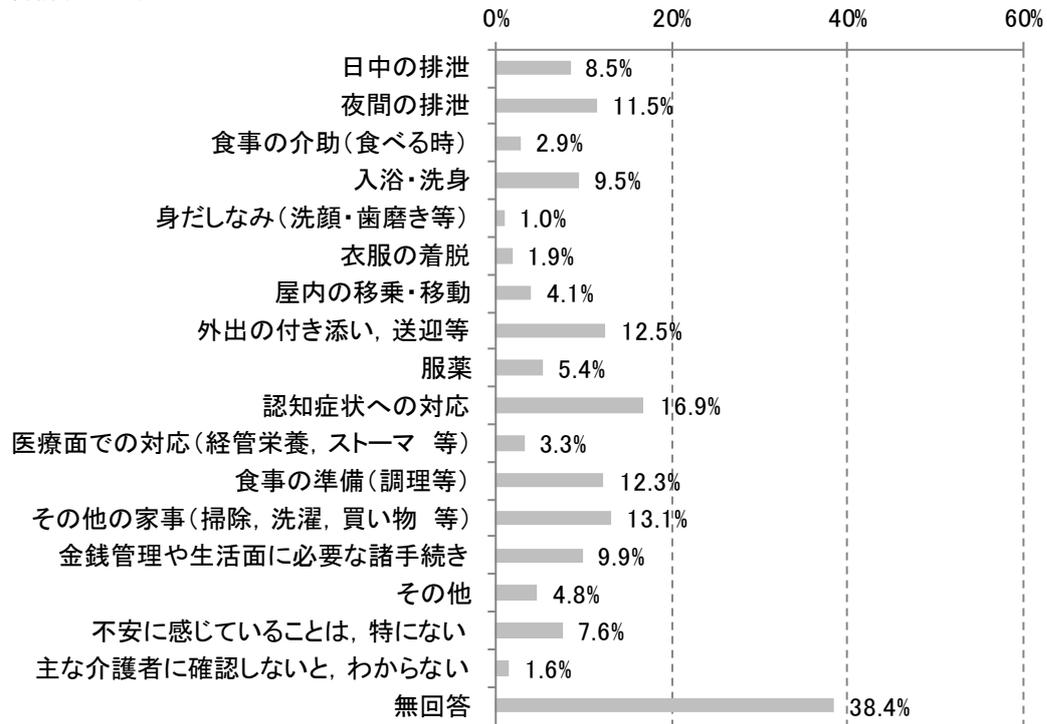
就労継続見込み別（主な介護者の方がフルタイム勤務及びパートタイム勤務者のみ）でみると、他に比べ「問題なく、続けていける」では「不安に感じていることは、特にない」が、「問題はあがるが、何とか続けていける」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が、「続けていくのはやや難しい+かなり難しい」では「外出の付き添い、送迎等」、「認知症への対応」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が高くなっています。

認知症日常生活自立度別でみると、自立度が下がるとともに「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「認知症状への対応」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が高くなっています。一方、自立度が上がるとともに「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「不安に感じていることは、特にない」が高くなっています。

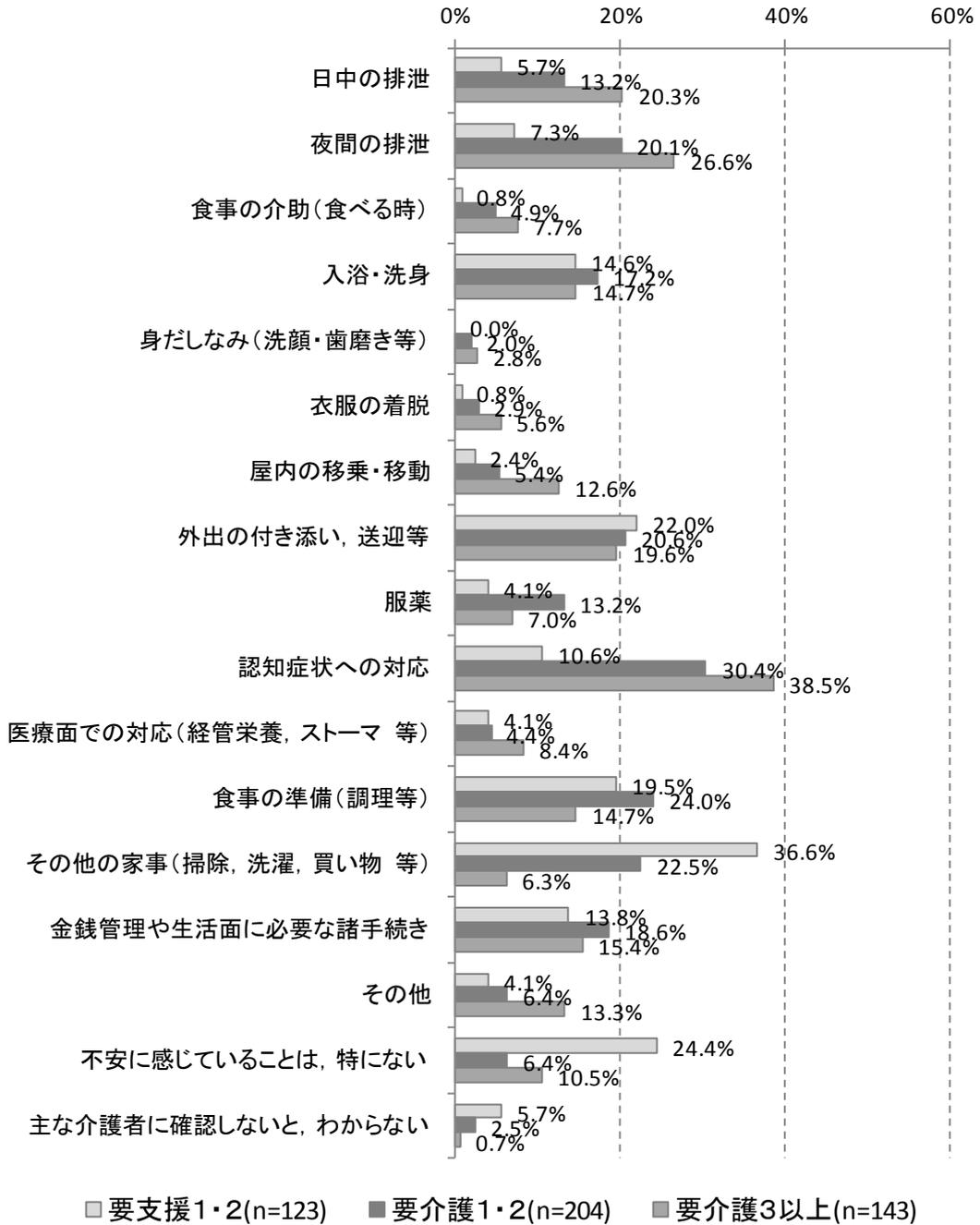
要介護3以上におけるサービス利用の組み合わせ別でみると、「訪問系のみ」では「不安に感じていることは、特にない」が高く、「通所系・短期入所系のみ」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が高くなっています。

認知症日常生活自立度Ⅲ以上におけるサービス利用の組み合わせ別でみると、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期入所系のみ」の全てにおいて「認知症状への対応」が高くなっています。

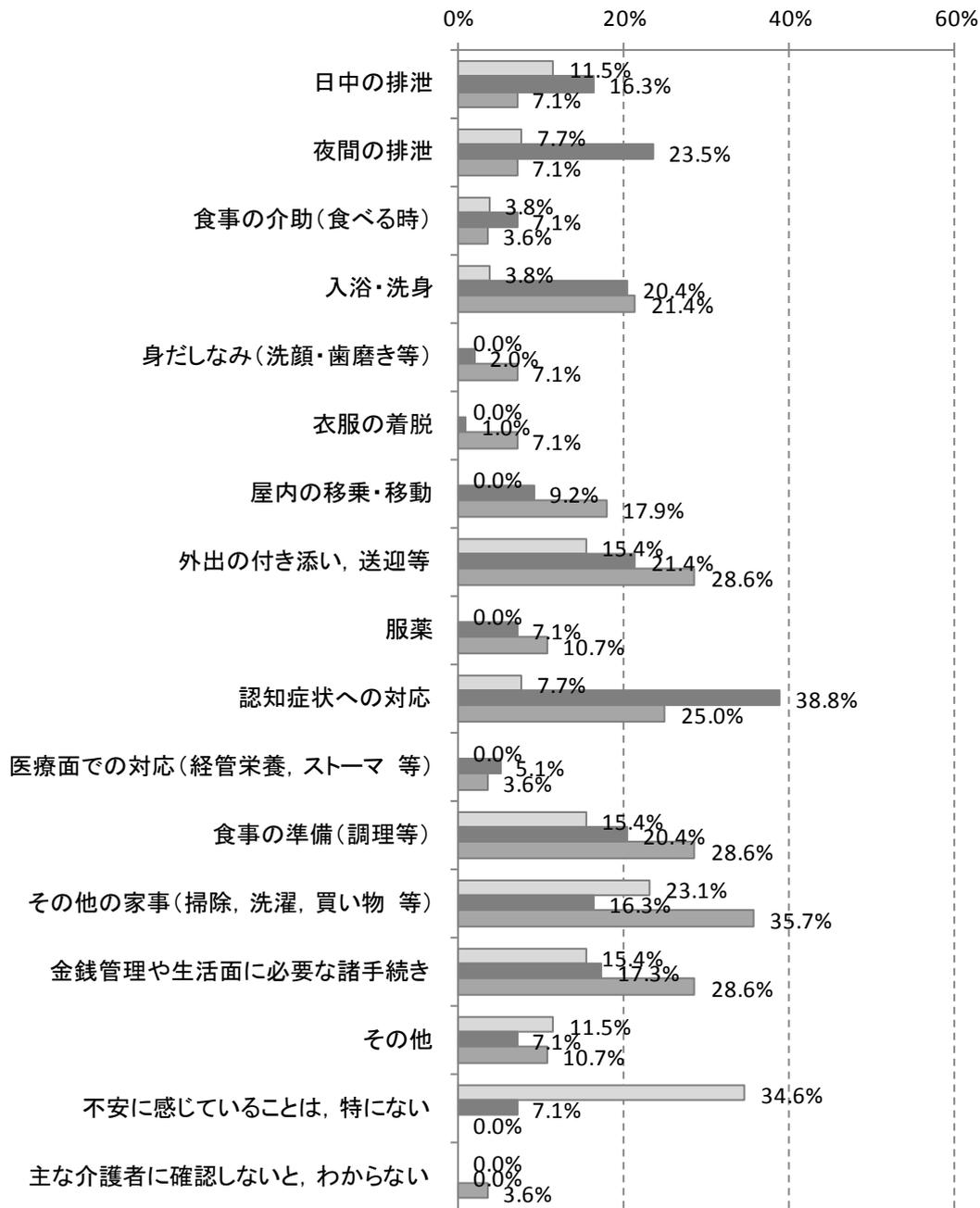
合計(n=789)



【要介護度別】

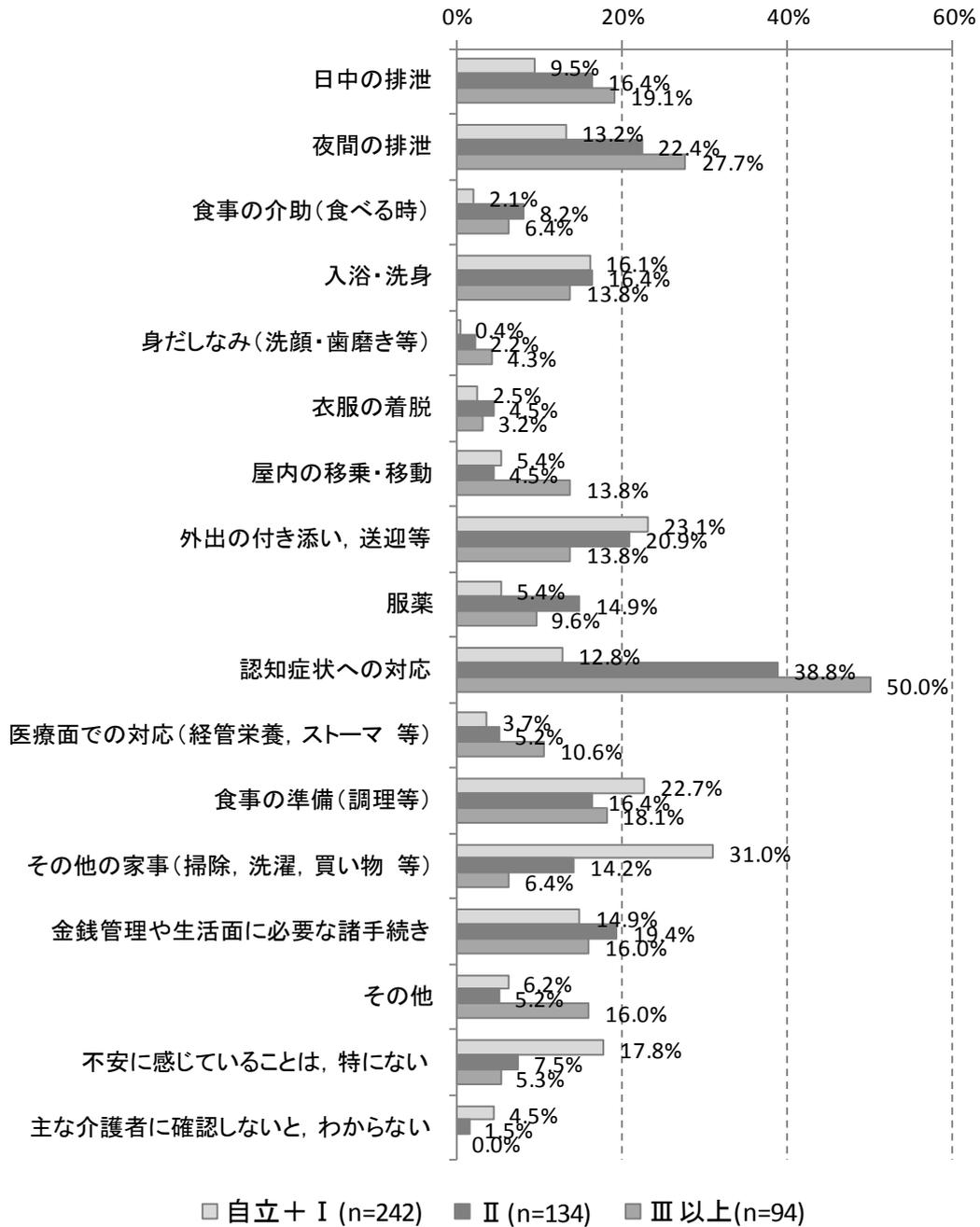


【就労継続見込み別】（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

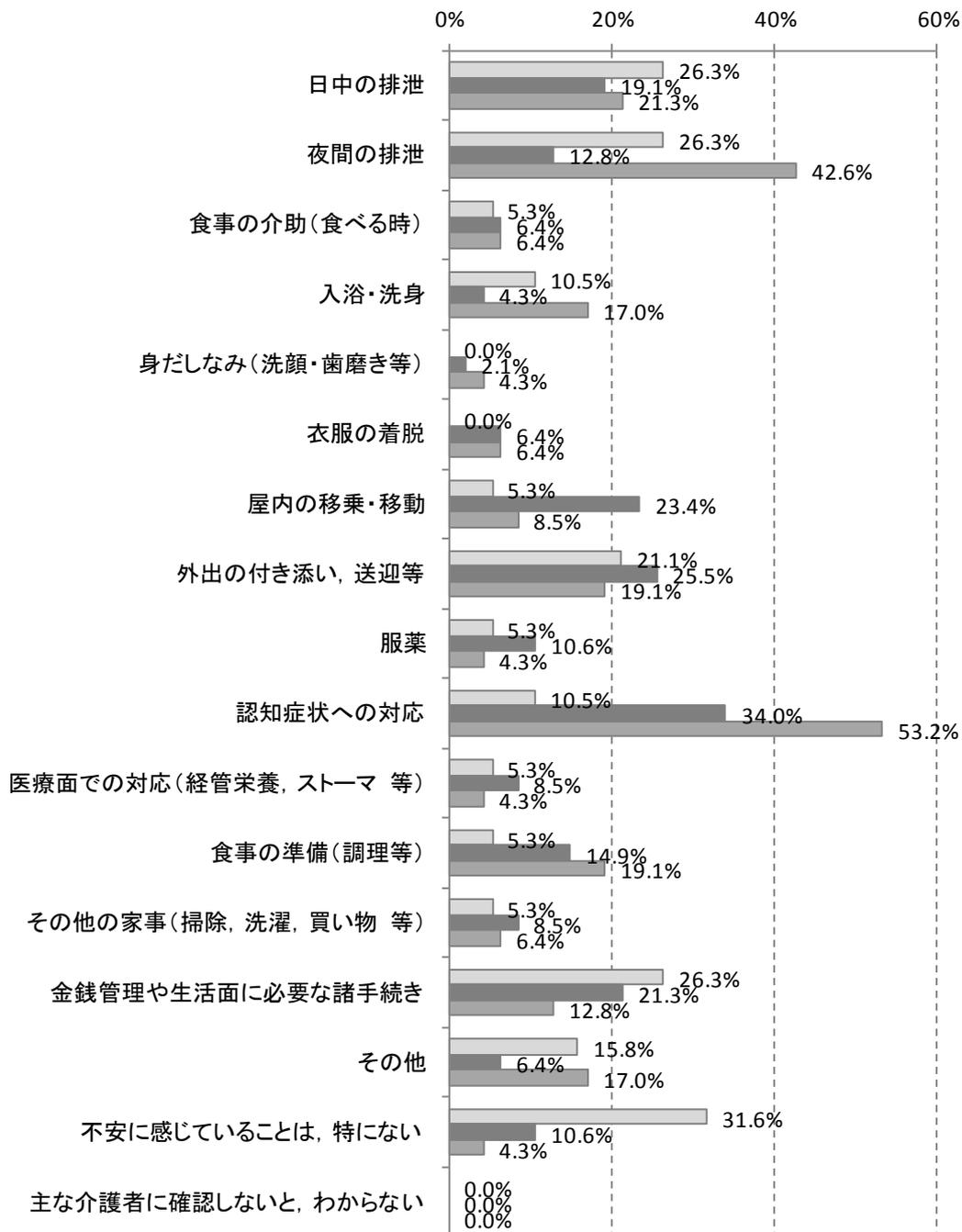


- 問題なく、続けていける(n=26)
- 問題はあるが、何とか続けていける(n=98)
- 続けていくのは「やや難しい＋かなり難しい」(n=28)

【認知症日常生活自立度別】

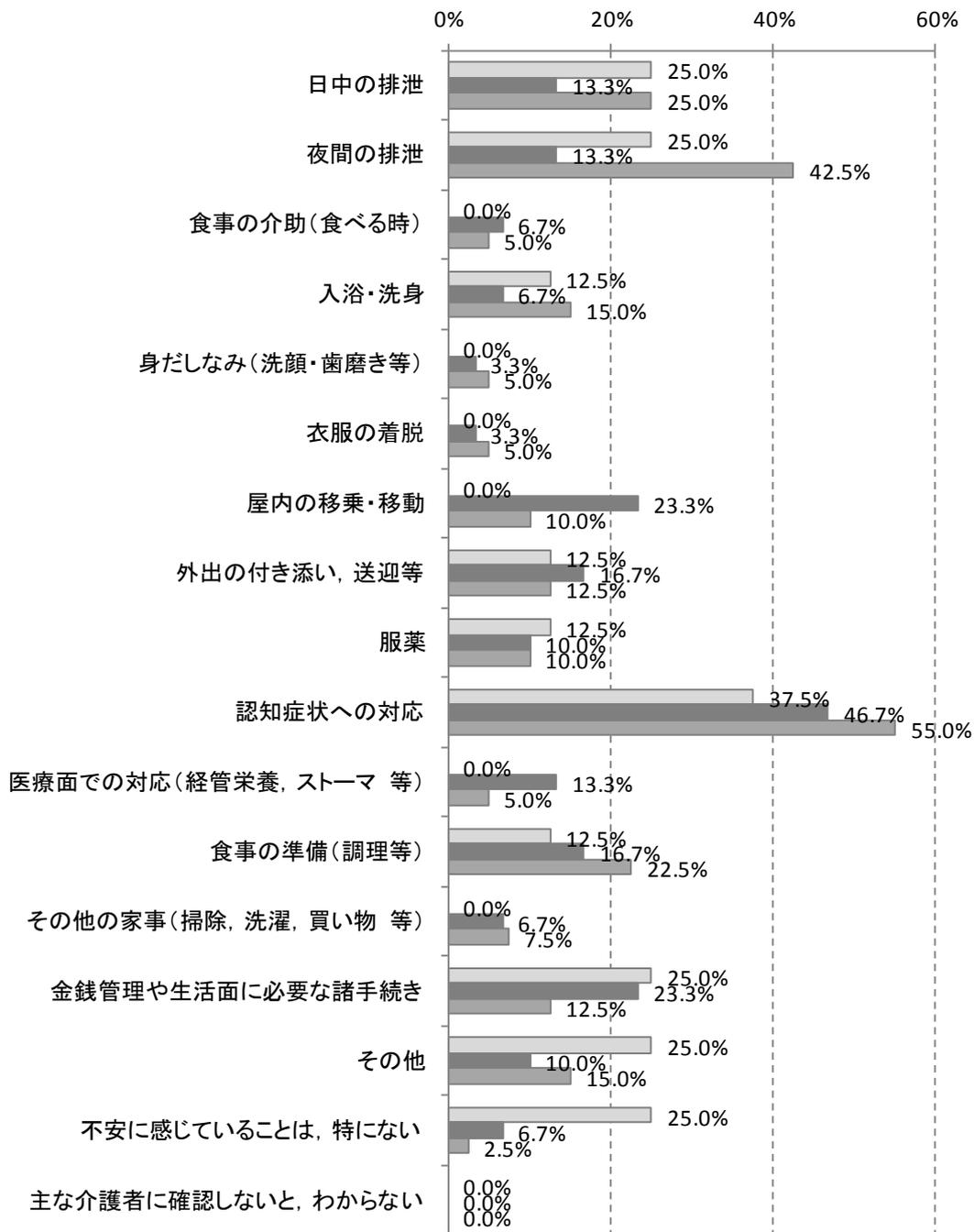


【サービス利用の組み合わせ別】（要介護3以上）



□ 訪問系のみ(n=19) ■ 訪問系を含む組み合わせ(n=47) ▨ 通所系・短期入所系のみ(n=47)

【サービス利用の組み合わせ別】（認知症日常生活自立度Ⅲ以上）

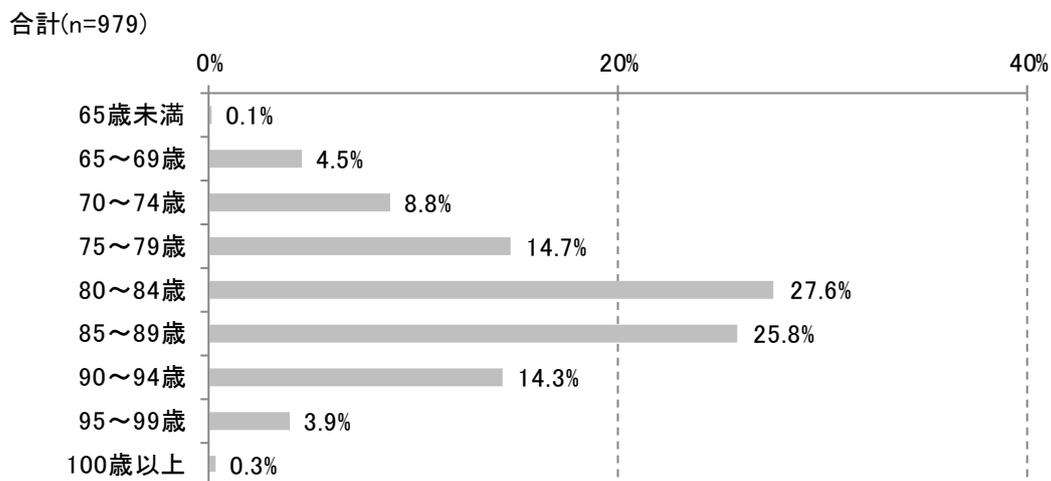


□ 訪問系のみ(n=19) ■ 訪問系を含む組み合わせ(n=47) ■ 通所系・短期入所系のみ(n=47)

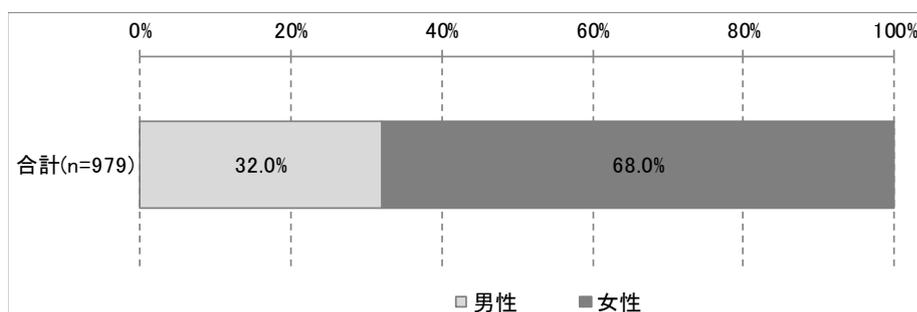
(参考) 要介護認定者データ

在宅介護実態調査に回答いただいた方の要介護認定者データの状況は以下の通りです。

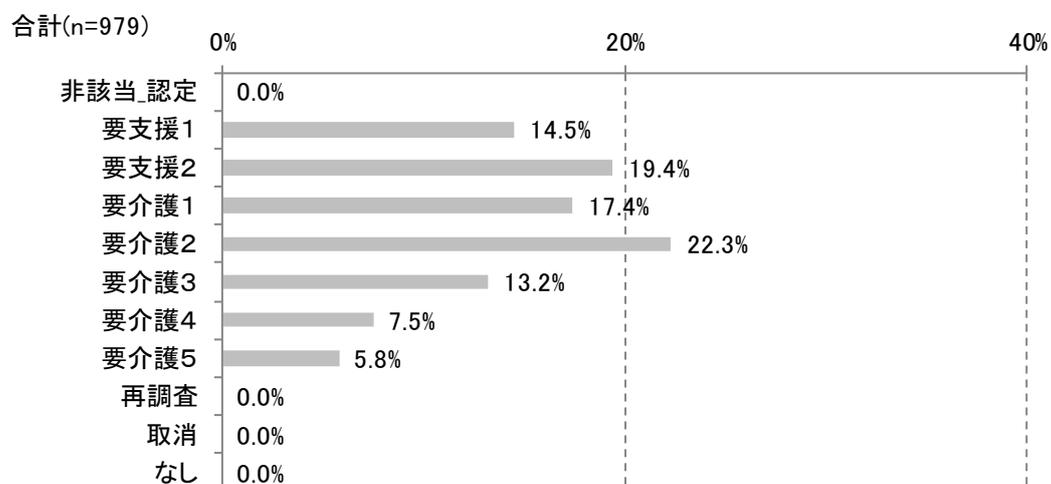
(1) 年齢



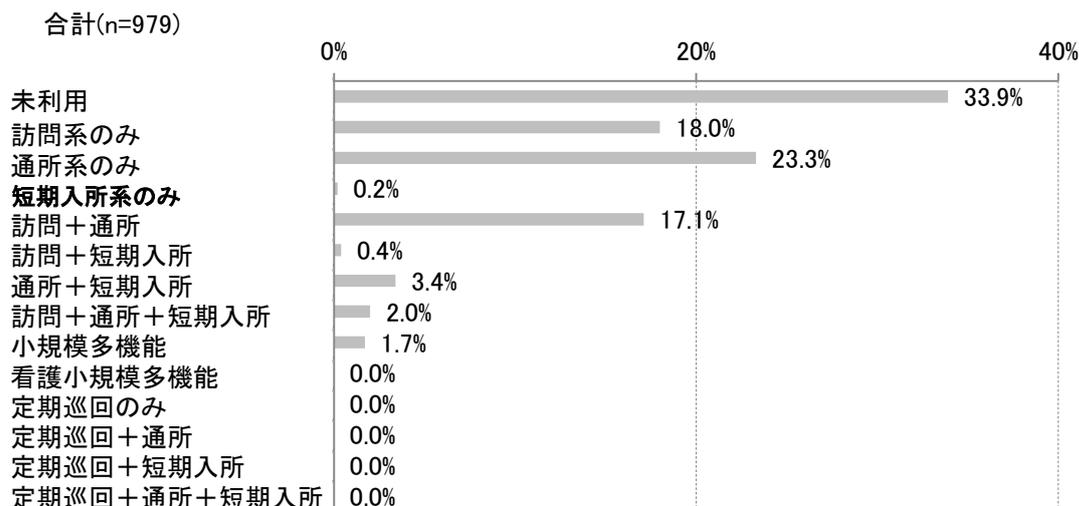
(2) 性別



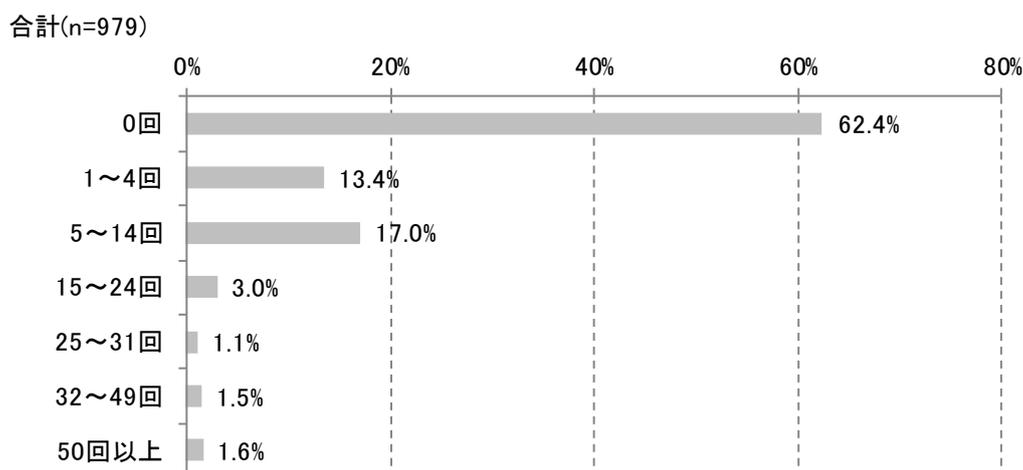
(3) 二次判定結果 (要介護度)



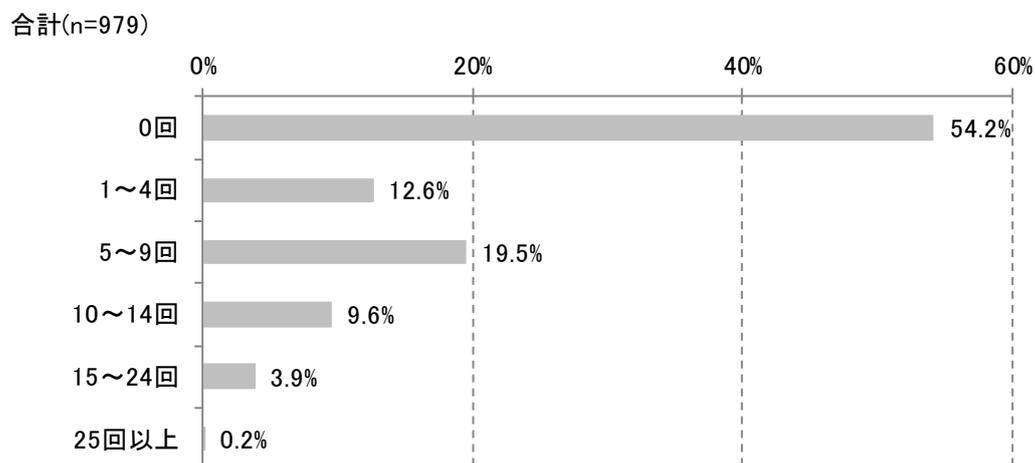
(4) サービス利用の組み合わせ



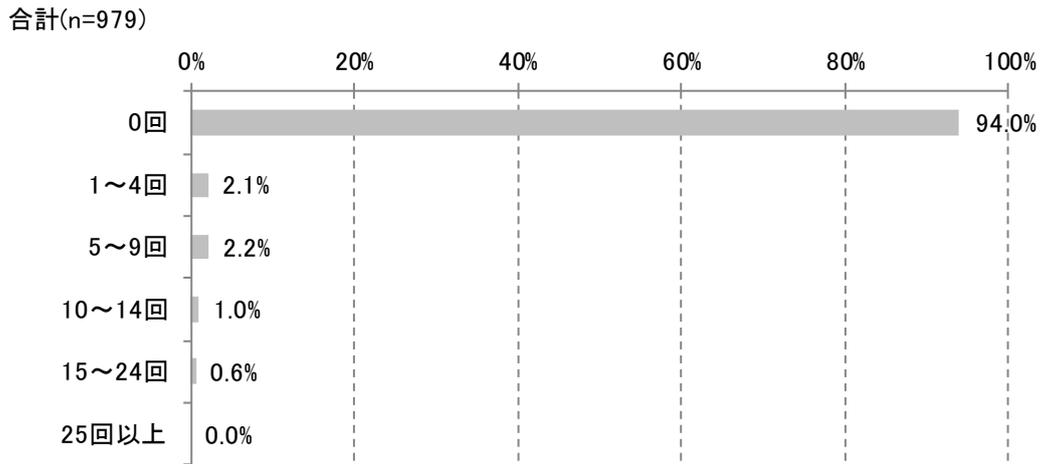
(5) 訪問系サービスの合計利用回数



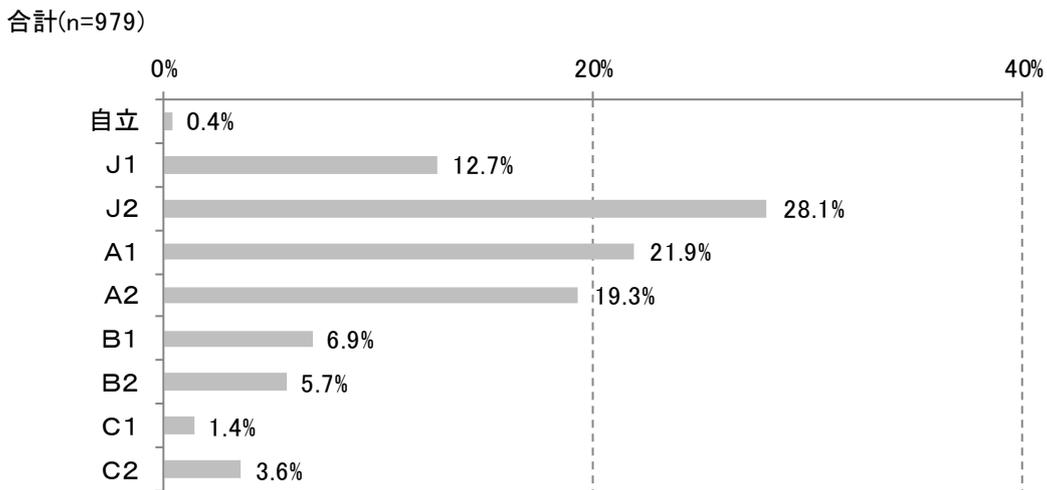
(6) 通所系サービスの合計利用回数



(7) 短期入所系サービスの合計利用回数



(8) 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

